REGZA

取付ガイド・保証書（裏表紙）

液晶ディスプレイ

取付ガイド

形名

TD-C434 / TD-C504 / TD-C554 / TD-C654

本書は TD-C434 / TD-C504 / TD-C554 / TD-C654 の設置・据え付けに関するガイドブックです。
掲載の製品の機能詳細は弊社WEBページに掲載の
「TD-C434 / TD-C504 / TD-C554 / TD-C654 取付／取扱説明書」をダウンロードしてご確認ください。

ユーザーメモ

形名・製造番号は液晶ディスプレイ本体の
背面に記載されています。
形名・製造番号を以下にご記入ください。
お買い上げの販売店にご連絡される際は、この番号をお伝え
ください。
形　　名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
製造番号：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

～最初に必ずお読みください～

安全上のご注意

製品及び取付/取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。
次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

【表示の説明】

表　示	表示の意味
⚠警告	“取扱いを誤った場合、人が死亡、または重傷（＊1）を負うことが想定されること”を示します。
⚠注意	“取扱いを誤った場合、人が軽傷（＊2）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊3）の発生が想定されること”を示します。

＊1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温・化学）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るもの、及び治療に入院や長期の通院を要するものをさします。
＊2：軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
＊3：物的損害とは、家屋・家財及び家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

【図記号の例】

図記号	図記号の意味
 禁　止	“⃠”**は、禁止（してはいけないこと）**を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 指　示	“●”**は、指示する行為の強制（必ずすること）**を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 注　意	“△”**は、注意**を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

⚠警告

異常や故障のとき

■ 煙が出ている、変なにおいがするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く


プラグを抜け

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■ 入力信号を接続して電源を入れても、画面が映らない、音が出ないときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く


プラグを抜け

そのまま使用すると、火災の原因となります。
お買い上げの販売店に、点検をご依頼ください。

■ 内部に水や異物がはいったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜く


プラグを抜け

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
お買い上げの販売店に、点検をご依頼ください。

■ 落としたり、キャビネットを破損したりしたときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く


プラグを抜け

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
キャビネットが破損したままで取り扱うと、けがのおそれがあります。
お買い上げの販売店に、点検・修理をご依頼ください。

■ 電源コードや電源プラグが傷んだり、発熱したりしたときは、本体ボタンメニューの「電源」操作、もしくは、リモコンの電源を押して電源を切り、電源プラグが冷えたことを確認し、コンセントから抜く


プラグを抜け

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
コードが傷んだら、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。

設置するとき

■ 本機はコンセントから電源プラグが抜きやすいように設置する


指　示

万一の異常や故障のとき、または長期間使用しないときなどに役立ちます。

設置するとき　つづき

■ 屋外や浴室など、水のかかるおそれのある場所には設置しない


風呂、シャワー室での使用禁止

火災・感電の原因となります。

■ ぐらつく台の上や傾いたところなど、不安定な場所や振動のある場所に置かない


禁　止

液晶ディスプレイが落下すると、重大な人身傷害や死亡の原因になることがあります。本機の固定にはVESA基準に準拠した壁掛け金具またはフロアスタンドをご使用してください。
多くのけが、特にお子様のけがは以下のような簡単な予防措置をとることで回避できます。本機やリモコンを操作するため、本機を設置した壁掛け金具やフロアスタンドにはよじ登らないでください。お子様にはよじ登ることが危険であることをよく説明して、よじ登らないように注意してください。

■ 振動・衝撃のある場所に設置しない


振動禁止

振動・衝撃で液晶ディスプレイが移動・転倒し、けがの原因となります。

■ 電源プラグは交流100Vコンセントに根元まで確実に差し込む


指　示

- 交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。
- 差し込みかたが悪いと、発熱によって火災の原因となります。
- 傷んだ電源プラグ、ゆるんだコンセントは使わないでください。

■ 電源コードのコネクターは、本機のAC INPUT端子に確実に差し込む


指　示

差し込みかたが悪いと、発熱によって火災の原因となります。本機を移動したりしたときは、差込部分のゆるみがないかご確認ください。

■ 壁に取り付けて使用する場合、壁掛工事は、お買い上げの販売店に依頼する


指　示

工事が不完全だと、けがの原因となります。

～最初に必ずお読みください～

安全上のご注意　つづき

設置するとき　つづき

■ 上に物を置いたり、ペットをのせたりしない

上載せ禁止

● 金属類や花びん・コップ・化粧品などの液体、ペットの尿・体毛などが内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。
● 重いものが置かれて落下した場合、けがの原因となります。

■ 転倒・落下防止の処置をする

指示

転倒・落下防止の処置をしないと、液晶ディスプレイの転倒・落下によってけがなどの危害が大きくなります。
転倒、落下防止のしかたについては、設置環境によりますので、工事専門業者にご依頼ください。

使用するとき

■ 修理・改造・分解はしない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電・火災の原因となります。
内部の点検・調整及び修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

■ 電源コード・電源プラグは、

禁止

● 傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したり（熱器具に近づけるなど）しない
● 引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしない
● 無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない
火災・感電の原因となります。

■ 異物を入れない

異物挿入禁止

通風孔などから金属類や紙などの燃えやすいものが内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。
特にお子様にはご注意ください。

使用するとき　つづき

■ 雷が鳴りだしたら液晶ディスプレイ・電源コード及び本機に接続した機器やケーブル・コードに触れない

禁止

感電の原因となります。

■ 包装に使用しているビニール袋でお子様が遊んだりしないように注意する

指示

かぶったり、飲み込んだりすると、窒息のおそれがあります。
万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

■ 電源コードは、本機の付属品を使用する

指示

付属品以外の電源コードを使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

■ 本機に付属されている電源コードを他の機器に使用しない

禁止

他の機器に使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

お手入れについて

■ ときどき電源プラグを抜いて点検し、プラグやプラグの差込口にゴミやほこりが付着している場合は、きれいに掃除する

指示

電源プラグの絶縁低下によって、火災の原因となります。

■ お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

指示

感電の原因となることがあります。

⚠注意

設置するとき

■ 温度の高い場所に置かない

禁止

直射日光の当たる場所やストーブのそばなど、温度の高い場所に置くと火災の原因となることがあります。
また、キャビネットの変形や破損などによって、感電の原因となることがあります。

■ 通風孔をふさがない

禁止

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
● 周囲を囲まれた、風通しの悪いところに設置しないでください。
● テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。
● じゅうたんや布団の上に置かないでください。
● あお向け・横倒し・逆さまにしないでください。

■ 湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かない

禁止

加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所や、台所・浴室などの湿気の多い場所などに置くと、故障や火災・感電の原因となることがあります。

■ 移動したり持ち運んだりする場合は、

指示

● 包装箱から出すとき、持ち運ぶときは、2人以上で取り扱う
ひとりで取り扱うと、からだを痛めたり、液晶ディスプレイを落としてけがをしたりする原因となることがあります。
● 画面を押さえないように、液晶ディスプレイをしっかり支えて取り扱う
液晶ディスプレイが落下してけがの原因となることがあります。
● 衝撃を与えないように、ていねいに取り扱う
液晶ディスプレイが破損してけがの原因となることがあります。
● 移動する前に、すべてのケーブルを取り外す
ケーブルを接続したまま本機を移動すると、ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

■ 車（キャスター）付きのスタンドに設置する場合は、キャスターが動かないように固定する

指示

固定しないとスタンドが動き、けがの原因となることがあります。
畳やじゅうたんなど柔らかいものの上に置くときは、キャスターをはずしてください。キャスターをはずさないと、揺れたり、傾いたりして倒れることがあります。

使用するとき

■ コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしない

禁止

タコ足配線をしないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

■ 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かない

禁止

電源コードを引っ張って抜くと、電源コードや電源プラグが傷つき火災・感電の原因となることがあります。
電源プラグを持って抜いてください。

■ 熱くなった通風孔に手や顔などを近づけない

禁止

本機は使用すると通風孔付近が非常に熱くなり、体の一部を近づけすぎると、やけどやけがの原因となることがあります。

■ ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

■ 液晶ディスプレイやスタンドにぶら下ったり、上に乗ったりしない

禁止

落ちたり、倒れたり、壊れたりしてけがの原因となることがあります。
特にお子様にはご注意ください。

■ 長期間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く

プラグを抜け

万一故障したとき、火災の原因となることがあります。
本体ボタン操作やリモコンの電源ボタンで電源オフにしても、本機への通電は完全には切れていません。本機への通電を完全に切るには、電源プラグをコンセントから抜いてください。

使用するとき　つづき

■ リモコンに使用している乾電池は、

禁 止

- 指定以外の乾電池は使用しない
- 極性表示(+)と(–)を間違えて挿入しない
- 充電・加熱・分解したり、ショートさせたりしない
- 火や直射日光などの過激な熱にさらさない
- 表示されている「使用推奨期限」の過ぎた乾電池や、使い切った乾電池はリモコンに入れておかない
- 長期間使用しないときは、乾電池をリモコンに入れておかない
- 種類の違う乾電池、新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しない

これらを守らないと、液もれ・発熱・発火・破裂などによって、やけど・けがの原因となることがあります。
もれた液が目にはいったり、皮膚についたりすると、目や皮膚に障害を与えるおそれがあります。目や口にはいったり、皮膚についたりしたときは、きれいな水でよく洗い流し、直ちに医師に相談してください。
衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。
器具についたときは、液に直接触れないでふき取ってください。

■ 液晶ディスプレイの画面をたたいたり、衝撃を加えたりしない

禁 止

ガラスが割れて、けがの原因となることがあります。
もしも、ガラスが割れて液晶（液体）がもれたときは、液晶に触れないでください。

もれた液が目にはいったり、皮膚についたりすると、目や皮膚に障害を与えるおそれがあります。目や口にはいったり、皮膚についたりしたときは、きれいな水でよく洗い流し、直ちに医師に相談してください。
衣服などについたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。
床や周囲の家具、機器などについたときは、液に直接触れないでふき取ってください。

■ 心臓ペースメーカーを装着している人は、心臓ペースメーカーの装着部位からディスプレイ本体やリモコンを22cm以上離す

指 示

ディスプレイ本体やリモコンからの電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

■ 本機の無線機能は、病院内や医療用電気機器のある場所で使用しない

禁 止

ディスプレイ本体やリモコンからの電波が医療用電気機器に影響をおよぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

■ 液晶ディスプレイの周囲に薬品、芳香剤、消臭剤、化粧品、洗剤などを置かない

禁 止

薬品・芳香剤・消臭剤・化粧品・洗剤などの中には、プラスチックに付着すると劣化やひび割れを生じさせるものがあります（詳しくは、後述の「お知らせ」をご覧ください）。

液晶ディスプレイのキャビネットやスタンド部分が破損すると、感電の原因となったり、液晶ディスプレイが転倒してけがの原因となったりすることがあります。薬品・芳香剤・消臭剤・化粧品・洗剤などが液晶ディスプレイに付着したときは、すぐにきれいにふき取ってください。
液晶ディスプレイのキャビネットやスタンド部分などにひび割れなどの破損が生じたときは、すぐにお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

お知らせ

- 本機のキャビネット、スタンドなどにはプラスチックが多く使われています。薬品・芳香剤・消臭剤・化粧品・洗剤などの中にはプラスチックに付着したままにしておくと、プラスチックの劣化・ひび割れ（ケミカルストレスクラック）の原因となるものもあります。「ケミカルストレスクラック」とは、製品荷重などの応力が加わっているプラスチック部分に、薬品・芳香剤・消臭剤・化粧品・洗剤などが付着すると、付着物がプラスチック内部に浸透して応力との相互作用でひび割れや破損が発生する現象です。こぼれたこれらの液体などが、製品底面のプラスチック部分と設置台のすき間に浸み込んだ場合でも、放置すると発生することがあります。

お手入れについて

■ お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く

指 示

感電の原因となることがあります。

お手入れのしかたは18ページをお読みください。

■ 1年に一度は内部の清掃を、お買い上げの販売店に相談する

指 示

本体の内部にほこりがたまったまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。
特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。内部清掃費用については、お買い上げの販売店にご相談ください。

■ お手入れや、画面の向きを変える際に、

禁 止

- **画面とキャビネットの隙間に液体や異物を入れない**
- **画面のみを押したり、引っ張ったりしない**

画面の内面はガラスでできています。無理に曲げたり、傷つけたりした場合、画面が割れて、けがの原因となることがあります。お手入れのしかたは18ページをお読みください。

～最初に必ずお読みください～

使用上のお願いとご注意

取扱いについて

- 高度3000mを超える場所では使用しないでください。正常に動作しない可能性があります。また、20ページ記載の環境条件の範囲外では動作保証できません。
- 本機をご使用中、製品本体で熱くなる部分がありますので、ご注意ください。
- 移転など、遠くへ運ぶときは、傷がつかないように毛布などでくるんでください。また、衝撃・振動を与えないでください。
- 本機に殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 本機から「ジー」という液晶パネルの駆動音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません。
- 海岸地区のような潮風の影響を受ける場所や、温泉地のように腐食性のガスが発生する場所等には設置しないでください。塩分やガスで腐食が発生して誤動作や故障の原因となることがあります。

本機を廃棄、または他の人に譲渡するとき

- 本機を譲渡する場合、全ての情報を初期化することをお勧めします。
- 本機を破棄する場合、地域や地方自治体などの規則に従って、定められた場所に出してください。

商標に関する情報

- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface という語、HDMIのトレードドレスおよび HDMIのロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。
- Blu-ray Disc™（ブルーレイディスク）、Blu-ray™（ブルーレイ）はブルーレイディスク アソシエーションの商標です。
- Windows、Windows10、Windows11は、Microsoft Corporationの米国及びその他の国における商標または登録商標です。
- Google、Android、YouTube、YouTube Music及びYouTubeロゴはGoogle LLCの商標です。
- この製品はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、Dolby Audio及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの商標です。
  非公開機密著作物。著作権1992-2019年ドルビーラボラトリーズ。不許複製。
- Manufactured under license from DTS, Inc. and/or its affiliates. For patents, see https://xperi.com/dts-patents/. DTS, the DTS logo, DTS-HD Master Audio, DTS-HD, the DTS-HD logo, Virtual:X, and the DTS Virtual:X logo are trademarks or registered trademarks of DTS, Inc. and/or its affiliates in the U.S. and/or other countries. © DTS, Inc. and/or its affiliates. All rights reserved.
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。
  TVS REGZA株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。
- その他、会社名、製品名等の固有名詞は各社の商標または登録商標です。

その他、重要情報

メモ	メモは、重要度の高い情報や、特に注意が必要なことを強調して示しています。また、補足情報も記載されています。

～最初に必ずお読みください～

使用上のお願いとご注意　つづき

免責事項について

- 地震・雷などの自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、使用者の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切関与いたしません。
- 本機の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損害、事業の中断、視聴料金の損失など）に関して、当社は故意または重過失ある場合を除き責任を負いません。
- 他の接続機器との組み合わせによる誤動作や動作不能、誤操作などから生じた損害に関して、当社は故意または重過失ある場合を除き責任を負いません。
- 取付/取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切関与いたしません。
- 誤動作や、静電気などのノイズによって本機に記録データなどが変化・消失することがあります。
- 液晶パネル、バックライトの経年劣化（輝度の変化、色の変化、輝度と色の均一性の変化、焼き付き、欠点の増加など）が生じた場合、保証期間内でも有料修理になります。
- 液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られており、微細な画素の集合で表示しています。99.99%以上の有効画素があり、ごく一部（0.01%以下）に光らない画素や常時点灯する画素などがありますが、故障ではありませんのでご了承ください。

本機の無線LAN/Bluetoothを使う際のお願い

- 本機は、日本国の電波法に基づく無線設備（無線LAN/Bluetooth）を内蔵しています。
- 本機に搭載されている無線設備は、日本国内専用です。海外で使用することはできません。
- 無線LANの2.4GHz帯とBluetoothは同じ周波数帯を使用するため、同時に使用すると、電波が干渉し合い通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いの無線LANを5GHz帯に設定してお試しください。
- 本機の無線LANおよびBluetoothが使用する周波数帯は、それぞれ2.4GHz帯/5GHz帯と2.4GHz帯ですが、他の無線機器も同じ周波数を使用している場合があります。本機の内蔵無線LANやBluetoothを使用する際は、他の無線機器との間で電波干渉が発生しないように、以下の注意事項に留意してください。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用されている免許を要する移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかにこの機器の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、又は機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. その他、電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、業務用ディスプレイ お客様相談窓口へお問い合わせください。

連絡先：業務用ディスプレイ お客様相談窓口

【一般回線・PHSからのご利用は】(通話料：無料)

0120-1048-27

【携帯電話からのご利用は】(通話料：有料)

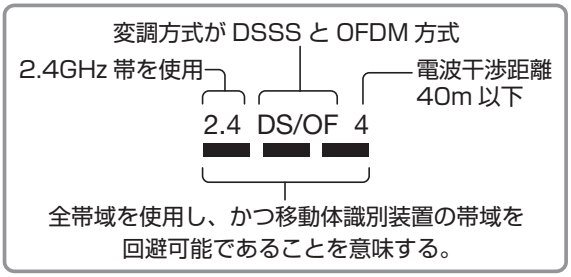
0570-666-065

受付時間：月曜～金曜 9:00-17:00

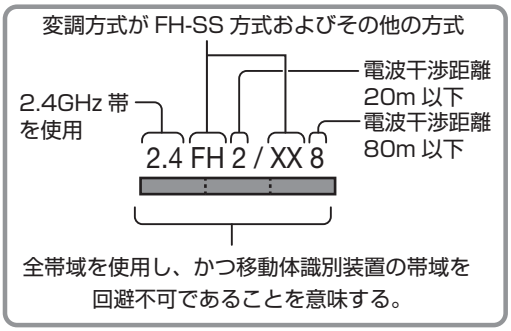
(祝日及びTVS REGZA株式会社既定休業日を除く)

- 5GHz帯のW52、W53の電波を使用して、屋外で通信しないでください。5GHz帯のW52、W53の無線設備を屋外で使用することは、法令で禁止されています。屋外で本機の無線LANを使用する場合は、5GHz帯のW56を使用するか、または2.4GHz帯をご使用ください。

- 本機の定格銘板に記載されている周波数表示は、以下の内容を示しています。
  - 無線LAN：



  - Bluetooth：



- 本機の無線LANは、以下の規格に対応しています。無線LANアクセスポイントも、この規格に対応した製品をお使いください。

IEEE802.11b/g/n			
IEEE802.11a/n/ac			
~~J52~~	W52	W53	W56

規格		チャンネル	周波数帯（中心周波数帯）
IEEE802.11 b/g/n		1～13	2.412～2.472GHz
IEEE802.11 a/n/ac	W52	36,40,44,48	5.18～5.24GHz
	W53	52,56,60,64	5.26～5.32GHz
	W56	100,104,108, 112,116,120, 124,128,132, 136,140	5.50～5.70GHz

※　本機は従来の無線規格であるJ52には対応していません。

- 無線LANの性能や環境条件による影響など：
  無線LANのデータ転送速度は、通信距離・障害物などの環境条件、電子レンジ等の電波環境要素、ネットワークの使用状況などに影響されます。
  - 本機はIEEE802.11a/n/acの規格に準拠していますが、すべての無線LAN機器との接続や通信を保証するものではありません。
  - 5GHz帯に対応している無線LANアクセスポイントをお使いの場合は、5GHz帯でのご使用をおすすめします。
- 本機の近くに無線LANアクセスポイントが設置されていると、アクセスポイント選択の一覧に表示されない、電波強度が弱く表示される、あるいは接続に失敗することがあります。このような現象が発生した場合、本機と無線LANアクセスポイントを離してお試しください。また、無線LANアクセスポイントの送信強度を下げることで改善できる場合もあります。
- 本機のBluetoothは、以下の規格を使用しています。
  規格：Bluetooth Specification Ver.5.1
  周波数帯：2.4GHz帯
- Bluetoothの性能や環境条件による影響など：
  - Bluetoothは、通信距離・障害物などの環境条件、電子レンジなどの電波環境要素、無線ネットワークの使用状況などに影響されます。
  - 本機は、USB接続のBluetoothアダプターには対応していません。本機のUSB端子にUSB接続のBluetoothアダプターを接続した場合、内蔵のBluetoothが正常に動作しなくなる場合があります。

無線LAN製品ご使用におけるセキュリティーに関するご注意

● **無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線LANアクセスポイント間で情報のやり取りをするため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続ができるという利点があります。**
その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定をしていない場合、以下のような問題が発生することがあります。

- **通信内容を盗み見られる**
  悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
  IDやパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報メールの内容
  などの通信内容を盗み見られるおそれがあります。

- **不正に侵入される**
  悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークにアクセスし、
  個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
  特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
  傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
  コンピューターウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）
  などの行為をされてしまうおそれがあります。

● **本来、無線LAN製品は、セキュリティに関する仕組みを持っていますので、その設定を行って製品を使用することで、上記問題が発生する可能性は少なくなります。**
セキュリティの設定をしないで使用した場合の問題を十分に理解した上で、お客様自身の判断と責任でセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをおすすめします。

国際エネルギースタープログラムについて

ENERGY STAR qualified model only
Your Signage product is ENERGY STAR qualified in its factory default setting.
Change to certain features, settings and functionality in this product can change the power consumption, possibly beyond the limits required for ENERGY STAR qualification.
Refer to www.energystar.gov for more information of the ENERGY STAR Program.

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。
＊初期値より設定を変更すると、国際エネルギースタープログラム適合基準を満たせなくなる場合があります。

電磁妨害波の抑制Iについて

本製品はVCCIクラスB に適合しています。

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。
VCCI－B

本製品のご利用に関する重要なお知らせ

ソフトウェア等利用規約

【はじめに】
この度は本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品の利用を開始される前に、必ずこのソフトウェア等利用規約（以下、「本規約」といいます。）をお読みください。なお、お客様（以下、「利用者」といいます。）による本製品の利用開始をもちまして、本規約の内容を十分にご理解いただき、また本規約の内容に同意したものとさせていただきます。
本規約は、利用者とＴＶＳ ＲＥＧＺＡ株式会社（以下、「当社」といいます。）との本製品又は本製品に含まれるソフトウェア（当社が利用許諾を受けている第三者（以下、「原権利者」といいます。）のソフトウェアを含みますが、これに限られません。なお、本規約とは別のソフトウェア利用条件が定められているソフトウェアも本製品に含まれますが、このようなソフトウェアの利用条件に関しては後述します。本製品に含まれるソフトウェアを、以下、「本ソフトウェア」といいます。）の利用に関する条件について規定する契約です。なお、本規約は、これらに加え、本製品に同梱される印刷物やオンラインで提供される情報も対象としております。
万が一、本規約にご同意いただけない場合、本製品に含まれるソフトウェア又はコンテンツサービス（以下、「本ソフトウェア等」といいます。）をご利用いただくことはできませんので、本製品の利用を開始する前に本製品の返品等について、当社までお問い合わせ下さい。また、当社の提供するコンテンツまたはコンテンツサービス（以下、「当社サービス」といいます。）に関するプライバシーポリシー（以下、「当社プライバシーポリシー」といいます。）に同意いただけない場合、本ソフトウェア等の利用に関し一部制限がかかる場合があります。なお、本規約又は当社プライバシーポリシーは、当社の判断により、適宜変更されることがありますので、予めご了承ください。本規約及び当社プライバシーポリシーについては、本製品の「設定」内の「省エネ・その他の設定」から「ソフトウェアの利用について」をお選びいただくと、ご覧いただけます。

【第1条　インターネット接続環境又は第三者サービス等】
(1) 本製品は、当社サービス又は当社以外の第三者コンテンツプロバイダー（以下、「第三者プロバイダー」といいます。）から提供されるソフトウェア、動画、画像、文書、音声その他一切のコンテンツサービス（以下、「第三者サービス」といいます。）へのアクセスを可能にする機能を搭載しておりますが、この機能を利用するためには、インターネットへの接続環境が必要となっております。当社サービス又は第三者サービス（以下、併せて「本サービス」といいます。）へのアクセス速度やサービスの品質、画質、利用可能な画像サイズその他一切のサービスは、利用者が契約しているインターネットプロバイダーから提供される一切の接続環境（インターネットサービスの性能、回線容量等を含みますが、これに限られません。）又は第三者サービスの配信環境に依存します。
(2) インターネットプロバイダーを含むインターネットサービス事業者への接続料等の支払いについては、利用者が責任を負うこととします。また、本サービスインターネット接続環境の品質については、利用者が契約しているインターネットプロバイダーから提供される一切の接続環境に依存するものとなります。ため、当社は一切関与いたしません。
(3) 第三者サービスは、当該第三者プロバイダーの判断により提供されるサービスであり、当該第三者プロバイダーの提示する条件に基づいて提供されており、当社は第三者サービスには関与していません。第三者サービスについては、第三者プロバイダーが定める条件に従ってご使用ください。
　第三者サービスに起因する損害および一切の送受信に関する事項（送受信の非適時性、送受信データの消失、エラー又は不保存を含みますが、これに限られません。）について、当社は一切関与いたしません。
(4) インターネットを利用した情報の送受信に関する機密性又は安全性は、完全に保証されたものではありません。利用者が送受信する一切の情報については、暗号化等の処理が用いられている等の特段の表示がない限り、第三者に傍受されている可能性があります。

【第2条　本ソフトウェア等又は本サービスの取扱い】
(1) 本ソフトウェア等は、衝撃耐性を有していないため、本ソフトウェア等の欠陥や誤作動により、利用者又は第三者の生命、身体、財産等に物理的な損害を与えるような環境下ではご使用いただくことはできません。
　本ソフトウェア等は、暗号化技術を含んでいるものもあります。暗号化技術を含むソフトウェア又はコンテンツは、輸出入に関する法律、規則、又は政府による許認可の対象となる可能性があり、利用者は、このような法律、規則、許認可又は条約等一切の規律を順守する責任を負います。なお、暗号化技術を含む本ソフトウェア等は、政府関係機関又は外国政府による使用を意図しておりません。
(2) 本ソフトウェアは、利用者の私的利用の範囲内で利用されるものであり、レンタルや入場料又は視聴料を伴う場所における上映その他公共の場での放映を目的に利用することは禁止されております。利用者は、本ソフトウェア等又は本サービスに関する一切の行動（本サービスへのアクセス、閲覧、利用等を含みますが、これに限られません。）について、自ら責任を負い、合法的な目的においてのみ、本ソフトウェア等又は本サービスを利用することができます。利用者は、本ソフトウェア等又は本サービス又はこれらの複製について、商用的又は公共的目的のために、販売、交換、修理又は送信することはできません。また、利用者は、本ソフトウェア等又は本サービスに係る動作を停止させ、又は停止を試みてはなりません。
(3) 本ソフトウェアは、現状有姿のまま何らの保証なく提供されるものとします。当社、又は原権利者又は第三者プロバイダーは、本ソフトウェア等又は本サービスについて、何らの保証（利用者の要求を満たすこと、本ソフトウェア等又は本サービスが中断なく稼働し不具合のないこと、第三者から侵害されないこと、利用者にとって有用であり合目的性があること、正確性や信頼性があること等を含みますが、これに限られません。）も行いません。また、当社又は当社代表者や役員等からの一切の情報の提供は、改めて当社による保証を生じさせるものではなく、本規約上の保証に関する条項を変更させるものではありません。さらに、本サービスの内容は、適宜変更されることがあり、またサービスそのものが終了することもありますので、あらかじめご了承ください。
(4) 前項での定めにかかわらず、本ソフトウェア等又は本サービスは、バグの修正、機能の改善、セキュリティー機能の強化等の目的で、当社、又は原権利者又は第三者プロバイダーの判断により、事前の通知なく、適宜、アップデート等の修正（以下、単に「修正」といいます。）がなされることがあり、この修正の適用を本ソフトウェア等の継続的な使用の条件にすることもあります。このような修正により、利用者が利用している本ソフトウェア等又は本サービスの機能が変更され、又は一部削除される可能性があります。
(5) 利用者は、本規約で明示的に定められたもの以外の目的で、本ソフトウェア等を利用することはできません。本ソフトウェア等は、本規約に基づいて、本製品においてのみ、利用が許諾され、また利用が可能となりますが、利用者に譲渡されるものではありません。また、本ソフトウェア等は、データを自動作成することがありますが、かかるデータは本ソフトウェア等の一部とみなします。利用者は、当社の同意なく、本ソフトウェア等の一部を本ソフトウェア等から分離して利用してはならず、また本ソフトウェア等の一部又は全部の修正、リバースエンジニアリング、逆コンパイル又は逆アセンブルしてはならず、さらに本ソフトウェア等を譲渡、貸与又はリースしてはならないものとします。
(6) 利用者は第三者に対して、当該第三者が本規約の全条項に同意することを条件とし、本製品の譲渡に伴う本ソフトウェア等の一切（本ソフトウェア等のあらゆるアップデート又はバージョンに係る構成部分、媒体、印刷物若しくはその複製が含まれますが、これに限られません。）又は本規約上の地位を譲渡することができますが、当社又は原権利者は、本規約上利用者に許諾されていない全ての権利を留保しております。
(7) 当社、又は原権利者又は第三者プロバイダーは、利用者に事前の通知なく、当社、又は原権利者又は第三者プロバイダーの判断により、本ソフトウェア等又は本サービスの全て又は一部を、一次的又は恒久的に変更、中止、終了又は削除することがあります。また、利用者が本規約に違反していると当社が判断した場合、当社は、本規約の履行を強制し、又は不履行を是正するため、あらゆる法的又は技術的な対策（利用者の本ソフトウェア等又は本サービスへのアクセス権限の即時停止等を含むが、これに限られない。）をとることができることとします。

【第3条　本製品の取扱い等】
(3) 本製品又は本ソフトウェア等には、本規約だけでなく、本規約とは別のソフトウェア利用条件に従っていただくもの（以下、「一部ソフトウェア」といいます。）が含まれます。一部ソフトウェアには、オープン・ソース・イニチアチブ（ＯＳＩ）によりオープンソースライセンスと認められたソフトウェアの他、それに代替する類似のソフトウェアライセンス（頒布者に当該ソフトウェアのソースコードを利用可能にしなければならない等の頒布条件の付されたものが含まれますが、これに限りません。）が適用されるソフトウェアもあります。一部ソフトウェアに適用される個々の条件は、本規約又は本製品の「設定」内の「省エネ・その他の設定」から「ソフトウェアの利用について」をお選びいただくと、ご覧いただけます。なお、一部ソフトウェアに適用されるライセンスの条件は、当該一部ソフトウェアにおいて求められる限度において、本規約に代わって適用されるものとし、本規約の内容が、一部ソフトウェアに適用

されるライセンスによって禁止されている場合、その限度において、当該本規約の内容は、当該一部ソフトウェアに適用されないものとします。当社は、一部ソフトウェアに適用されるライセンスに求められる限度において、本ソフトウェア等のソースコードを提供することとします。

(2) 本製品又は本ソフトウェア等には、ジェネラル・パブリック・ライセンス（ＧＰＬ）又はグヌー・レッサー・ジェネラル・パブリック・ライセンス（ＬＧＰＬ）の適用を受けるソフトウェアが含まれます。これらのソースコードをご覧になりたい場合は、当社ホームページにて「Linuxに関するお問い合わせ」からお問い合わせください。

ただし、エンド・ユーザー・ライセンス・アグリーメント（ＥＵＬＡ）に同意することを条件として提供される一部ソフトウェアには、著作権者又は当社を含む第三者の保証がないことを前提に、利用者が自身の判断で利用することが認められているものもあります。この場合、当該一部ソフトウェアは無償で利用者に利用許諾されますが、当該一部ソフトウェアの保証（市場性や特定目的適合性に関する黙示の保証も含まれますが、これに限りません。）は適用されず、当該一部ソフトウェアは、現状のまま提供されることとなりますので、利用者は、当該一部ソフトウェアの品質や性能に関する責任を負うこととなります。また、当該一部ソフトウェアに欠陥が確認された場合、修理等に伴う費用やそれに派生する費用について、当社は責任を負いません。また、著作権者やその許諾を受けて当該一部ソフトウェアの変更、再頒布をなし得る者は、法令の定め又は書面による合意がない限り、当該一部ソフトウェアを使用したこと又は使用できないことに起因する損害（データ自体又は正確性の消失、利用者又は第三者が被った損害、他のソフトウェアとのインターフェースの不適合化等の通常損害、特別損害、間接損害、偶発損害等の損害が含まれますが、これに限られません。）について、そのような損害の発生する可能性について知らされていた場合であっても、責任を負いません。当該別途ソフトウェアの利用条件等の詳細については、各ＥＵＬＡをご参照ください。

【第4条　本サービスに対する姿勢】

本製品を通じた本サービスの提供は、当社が本サービスを推奨していることを意味するものではありません。本サービスには広告物を含むことがありますが、同広告物は本サービスを提供するのにやむを得ず掲載等をしているものもあります。なお、当社又は第三者プロバイダーは、同広告物やコンテンツが正確性を有していること、適法であること、信頼に足りるものであることを保証するものではありません。

また、本サービスの一部は、年少者又はそれに準じる者に対して適切でないものも含まれます。そのようなサービスは、年齢制限が指定されているものもあれば、そのような指定がされていないものもありますが、そのようなサービスの利用については利用者自らの判断と責任で行っていただくこととなります。そのため、年少者による本サービス全般の利用について、利用者による監視監督が必要な場合があります。なお、利用者が未成年であれば、次のいずれかのサービス又はそれに類するサービスを利用する前に、親権者等の法定代理人の同意を得る必要があります。

・当社にメッセージその他一切の情報を送る行為
・ゲームまたは懸賞等に参加する行為
・グループ又はチャットルームに参加し、若しくは掲示板へ投稿する行為
・物品又はサービスを購入する行為

なお、当社は、新規又は既存の当社サービスの利用について、課金を要するような変更を加える権利を留保します。利用者の同意なく一方的に課金されることはありませんが、利用者が課金に同意しない場合、利用者は当社サービスの内課金対象となったサービスを利用できないことがあります。

【第5条　アカウント等の機密保持等】

利用者は、当社又は第三者プロバイダーにより、本ソフトウェア等又は本サービスの利用にあたってユーザーアカウント又はパスワード（以下、「アカウント等」といいます。）の作成又は更新を求められることがあります。利用者は、自らの責任のもとで、アカウント等の機密性を保持することとし、このような機密性の保持については、利用者が一切の責任を負うものとします。

利用者が本規約に従って本製品を返品、譲渡し、又は本規約が解除される場合、利用者は、本製品を通じてアクセスし取得したアカウント等を消去し、本製品をすべて初期化して購入時の状態に戻すこととします。

【第6条　当社による情報の利用等】

当社は、利用者が提供した一切の情報（提供方法の如何を問わず、またコメント、メッセージ、質問及び回答、提案その他一切のデータを含みますが、これに限られません。以下、「利用者情報」といいます。）は、すべて機密情報又は利用者に専属的に帰属する情報でないものとして取り扱います。そのため、当社による利用者情報の利用は、利用者のいかなる権利（所有権又は著作権、著作者人格権等の知的財産権等を含みますが、これに限られません。）も侵害したことにならず、また、すべての利用者情報は、地域の限定なく利用（複製、開示、放映、上演、出版、販売、送信、公表、翻案等を含みますが、これに限られません。）される可能性があります。また、利用者は、すべての利用者情報に関する権利等を当社に譲渡することとし、当社は、利用者に対価を支払うことなく、利用者情報に含まれるアイデアや技術等の知的財産権を自由に利用することができるものとします。なお、当社が利用者情報を取得しても、利用者情報又はそれに含まれる知的財産権を利用する義務を負うものではありません。

なお、インターネットを利用した情報の送信に関する機密性又は安全性は、完全に保証されたものではありません。利用者が送信する一切の情報については、暗号化等の処理が用いられている等の特段の表示がない限り、第三者に傍受されている可能性があります。

【第7条　第三者プロバイダーによる情報収集等】

第三者プロバイダーにより、第三者サービスを通じて、利用者に関する情報が収集されることがありますが、当社は責任を負うものではありません。第三者プロバイダーによる情報収集については、当該第三者サービスに関するプライバシーポリシーを事前にご確認ください。

【第8条　知的財産権の取扱い】

本ソフトウェアは、知的財産権に関する条約、法律又は規則等により保護されています。本ソフトウェアの利用を認めることは、当社、又は原権利者又は第三者プロバイダーが、利用者に対して、保有するロゴ、サービスマーク、商標、商号その他これらに類するものに関する権利を譲渡又は利用許諾するものではありません。本ソフトウェア又は本ソフトウェアの複製に関する一切の権利は、当社、又は原権利者又は第三者プロバイダーに帰属するものとし、本規約において明示的に許諾されていない一切の権利についても同様とします。

【第9条　本規約の改定】

本規約は、当社の判断（利用者が本規約に違反したことを含むが、これに限られない。）により、適宜、変更、追加又は削除されることがあります。いずれの場合も、利用者には、その実施後に通知（本ソフトウェア等によって行われます。）されますが、当該通知があった以降、利用者が本ソフトウェア等又は本サービスを利用することをもって、変更、追加又は削除された新たな契約内容に同意したものとさせていただきます。

【第10条　免責】

当社、又は原権利者又は第三者プロバイダーは、当社、又は原権利者又は第三者プロバイダー各々自らによる故意または重大な過失がある場合を除き、各々の債務不履行と因果関係の認められる通常の損害以外のものについては、責任を負いません。

【第11条　利用者の責任】

利用者に次のいずれかの事由又はこれらに類する事由が生じて、当社、当社関係者（役員や従業員を含みますが、これに限られません。以下、併せて「紛争関係者」といいます。）又は利用者と第三者とのあいだで紛争が生じた場合、利用者は、紛争関係者と協議の上、自己の名前と責任、費用でそれら紛争を解決することとし、紛争関係者に一切の迷惑をかけないようにしなければなりません。なお、紛争関係者は、利用者から補償を受けることを前提に、自己の名前と責任、費用で当該紛争を解決する権利を留保します。

・本規約に違反し、又は違反するおそれがあること
・当社に対して何らかの情報が提供されたこと
・第三者に対する権利侵害があったこと
・本ソフトウェア等又は本サービスが損傷又は毀損されたこと

なお、利用者は、同紛争を解決するため、自己の判断で代理人を選任することができますが、利用者が紛争関係者の代理人を選任する場合、当該紛争関係者の同意を得なければなりません。利用者は、紛争関係者の事前の書面による同意を得ることなく、紛争関係者の不利益になるような合意をすることはできません。

【第12条　完全合意等】

本規約、本製品に関する保証、当社プライバシーポリシー又は当社サービス（修正されたものも含みますが、これに限りません。）は、これらの利用に関して、利用者と当社との間の完全合意であることとします。

当社による本規約上の権利の不行使は、それらの権利を放棄するというものではありません。仮に本規約の一部が関係法令等により無効になったとしても、それ以外の部分は本規約の趣旨に鑑みて有効に存続するものとし、利用者に適用されるものとします。

原権利者又は第三者プロバイダーは、本規約における受益者として取り扱われることがあります。本規約は、適宜適切に、原権利者又は第三者プロバイダーのために適用されるものとします。

本規約に定めのない事項又は本規約の解釈に疑義が生じた場合、当社と利用者とは、誠実に協議し、これを解決するものとします。

【第13条　存続期間等規約違反の取扱い】

利用者が本規約に違反した場合、又は本規約に違反していると当社が判断した場合、当社は、事前の通知なく直ちに本規約を解除することができるものとし、このような解除がなされるまでの間、本規約は有効に適用されるものとします。利用者は本製品をご利用いただけません。

なお、このような解除がなされた場合、利用者は、本製品、本ソフトウェア等その他これらの複製品を直ちに廃棄又は返還しなければなりません。また、利用者は、当社、又は原権利者又は第三者プロバイダーに対し、このような解除がなされたことこれに伴い、費用の償還を求めることはできないものとします。

【第14条　準拠法、裁判管轄】

本規約の準拠法は、日本国の法律とします。本規約に関わる一切の紛争については、訴額に応じて東京地方裁判所又は東京簡易裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

以上

最終更新日　２０２４年１０月１０日

目次

1. 開梱と設置 1
- 1.1. 開梱 1
- 1.2. 梱包箱の内容 1
- 1.3. 設置時の注意 2
- 1.4. 取り付け 3
  - 1.4.1. 縦向きでの取り付け 4
  - 1.4.2. 傾斜状態での取り付け 5
- 1.5. 電源の接続 6
- 1.6. 駆動時間 6

2. 各部の名称と働き 7
- 2.1. 前面（LEDインジケータ/リモコン受光部/明るさセンサー） 7
- 2.2. 側面端子/本体ボタン/スピーカー 8
- 2.3. リモコン 10
  - 2.3.1. リモコンボタンの機能 10
  - 2.3.2. リモコンに乾電池をセットする 11
  - 2.3.3. リモコン操作 11
  - 2.3.4. リモコンの動作範囲 11

3. 外部機器を接続する 12
- 3.1. 外部機器を接続する前に 12
  - 3.1.1. 外部機器の準備 12
  - 3.1.2. 接続ケーブルの準備 12
- 3.2. USB1/USB2に接続する 13
- 3.3. HDMI1/HDMI2/HDMI3に接続する 13
- 3.4. RS-232C INに接続する 14
- 3.5. AUDIO OUTに接続する 14
- 3.6. ネットワークへの接続 15
  - 3.6.1. インターネットをつかう 15
  - 3.6.2. IP コントロールをつかう 16

4. 電源操作 17
- 4.1. 電源を入れる 17
- 4.2. 電源オフ 17

5. お手入れとトラブルシューティング 18
- 5.1. お手入れ 18
- 5.2. トラブルシューティング 19

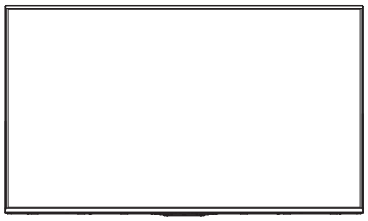
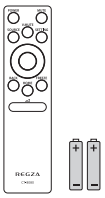
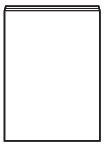
6. 製品仕様 20

1. 開梱と設置

1.1. 開梱

- 本機は、以下の付属品とともに梱包されています。
- 開梱後は、中身がすべてそろっており損傷していないことを確認してください。

1.2. 梱包箱の内容

品 名	数量	備 考
液晶ディスプレイ	1	
リモコン(CT-8081) 単四形乾電池	1 2	 リモコンと単四形乾電池(2個)
電源コード 2ピン, 1.5m	1	 電源コード
RS-232C変換ケーブル	1	
取付ガイド兼保証書 (本書)	1	 取付ガイド兼保証書

1.3. 設置時の注意

⚠警告	■ 壁に取り付けて使用する場合、壁掛工事は、お買い上げの販売店に依頼する 工事が不完全だと、けがの原因になります。

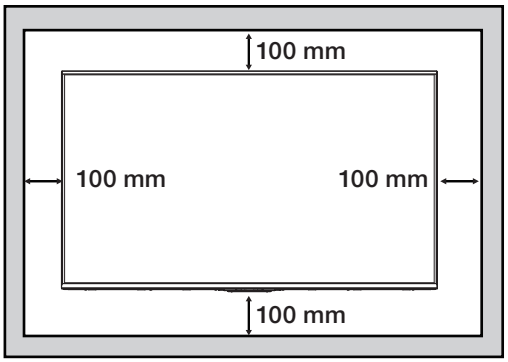
⚠注意	■ 2人以上で作業する 一人で作業をすると身体を痛めたり、けがをしたりする原因になります。 ■ 画面を強く握らない 画面を強く握ると、損傷を与えるおそれがあります。

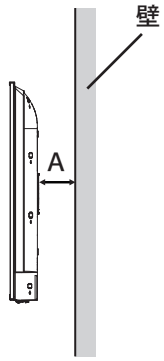
- 電力消費量が大きいため、必ず本機専用のコンセントを使用してください。延長ケーブルを使用する場合は、販売店にお問い合わせください。
- 複数のディスプレイを接続して使用する場合はコンセントの電源容量に注意してください。販売店にご相談いただくことをおすすめします。
- 本機を移動したり持ち上げたりするときは、2人以上で作業してください。
- 液晶ディスプレイの画面を押さえて持ったり、外枠（フレーム）を強く握ったりしないでください。

メモ
- 液晶パネル部は衝撃に弱く、不適切な取り扱いで損傷を与える場合があります。液晶パネルの損傷を防ぐため、液晶ディスプレイを持ち上げたり移動する場合は、上記注意事項を守ってください。不適切な取り扱いでの損傷は保証の対象外となります。

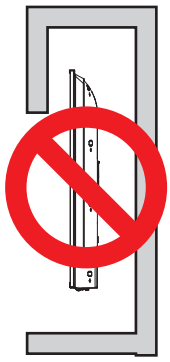
本機を設置する際の換気要件

本機を壁掛けで設置する場合、通気性を確保するために製品周囲および壁との距離 A を 100mm 以上確保してください。壁との距離が十分に確保できない場合は、市販のスペーサを使用してください。





⚠注意	セットを覆うような設置はしないでください。（右図参照） セットの放熱効果が妨げられ、製品内部が高温となり製品の寿命が短くなる場合があります。

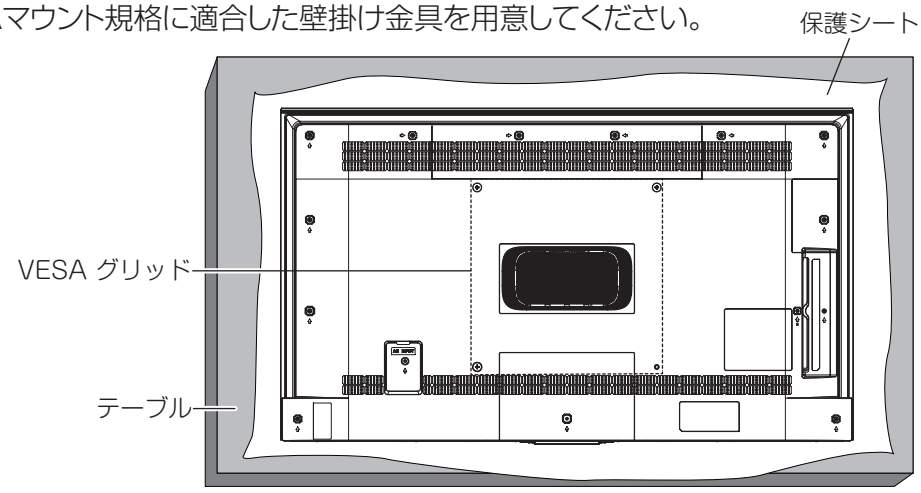


- 本機の使用環境温度は最大40 ℃です。
- 本機は温度センサーによる内部温度保護機能を持っています。（デフォルト:オン）
  内部温度保護機能がオンの場合、セット内部が高温になると、「警告」が出てバックライト輝度を50%に落とします。更に高温状態で動作を続けると電源オフをうながすメッセージがでて、本機の電源を自動でオフします。
  このような症状が発生した場合は本機の使用を中止して電源を切り、巻末に記載の業務用ディスプレイお客様相談窓口または販売店にご相談ください。

1.4.　取り付け

壁掛けで使用する

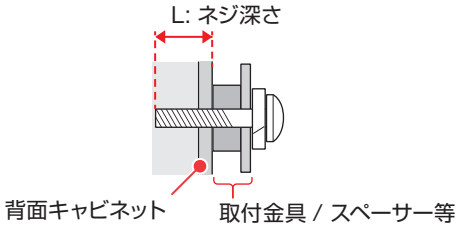
本機を壁掛け金具に取り付けます。VESAマウント規格に適合した壁掛け金具を用意してください。



1. 出荷時に本機を包んでいた保護シートをテーブルに敷き、表面に傷がつかないように本機を置きます。
2. 本機の取り付けに必要なすべての部品が揃っていることを確認します。
3. 実際の取り付けは、壁掛け金具に付属している手順書に従ってください。正しい手順に従わないと、機器が損傷したり、使用者や設置者が怪我をするおそれがあります。不適切な設置が原因の損害は製品保証の対象外です。
4. 本機と壁掛け金具との固定は、指定の取付ネジ（下記取付要件参照）を使用し、しっかりと締めてください。

＜取付ネジ 参考例＞

背面の通気性確保のため、必要に応じスペーサを使用してください。
（1.3 本機を設置する際の換気要件 参照）



＜取付要件＞

形名	ネジ深さ L(mm)	VESA取付ピッチ(mm)	固定ネジ径
TD-C434	9.5～11.5	300 x 300	M6
TD-C504	9.5～11.5	300 x 300	M6
TD-C554	9.5～11.5	400 x 300	M6
TD-C654	9.5～11.5	400 x 400	M6

⚠警告	取付金具をディスプレイに取り付ける場合、ディスプレイ本体に取り付けてあるネジは使用しないでください。ネジ深さが短く、ディスプレイが脱落してけがの原因となります。

取付金具をディスプレイに取り付ける場合、取り付け面からのネジ深さ(L)が 上記取付要件となるようなネジ（市販品）を使用してください。

フロアスタンドで使用する

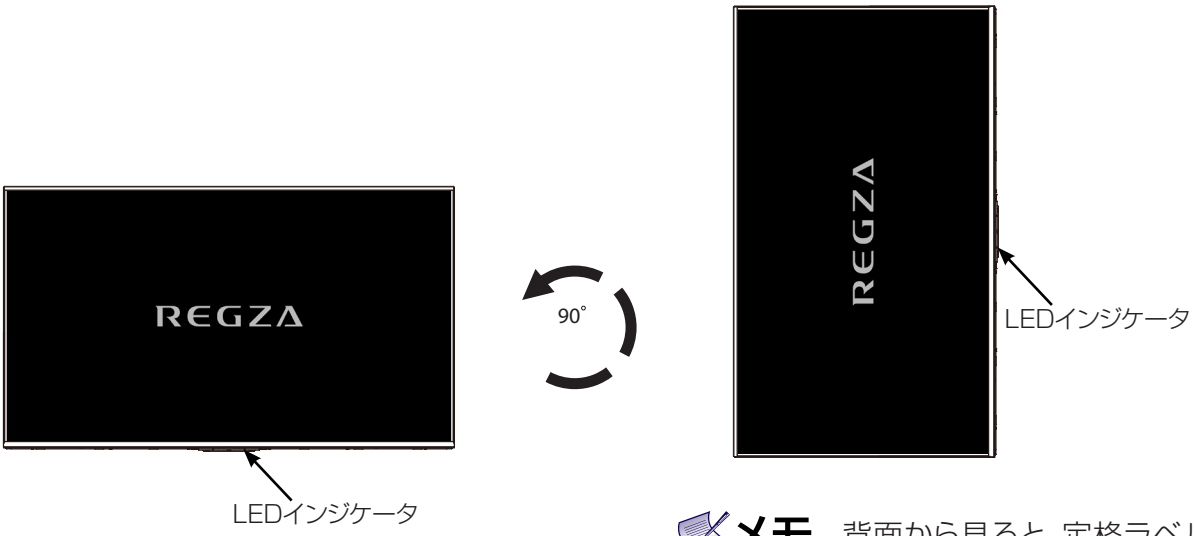
市販のフロアスタンドを使用する場合、VESAマウント規格に適合し、かつ製品質量を十分支えることのできるものをご使用ください。不明なところは弊社販売窓口にご相談ください。
取付方法はフロアスタンドの取付説明書の指示に従って、本機をフロアスタンドに取り付けます。本機をフロアスタント取付金具に取り付ける際の取り扱いや取付ネジの要件は上記壁掛けと同一です。

⚠注意	キャスター付きスタンドご使用時、本機を取り付けた状態で移動はしないでください。 床の状態によっては本機に過度な振動が加わり損傷をきたす場合があります。

1.4.1. 縦向きでの取り付け

本機は、縦向きに取り付けることができます。

正面から見てLEDインジケータが右側になるよう、反時計回りに90度回転します。

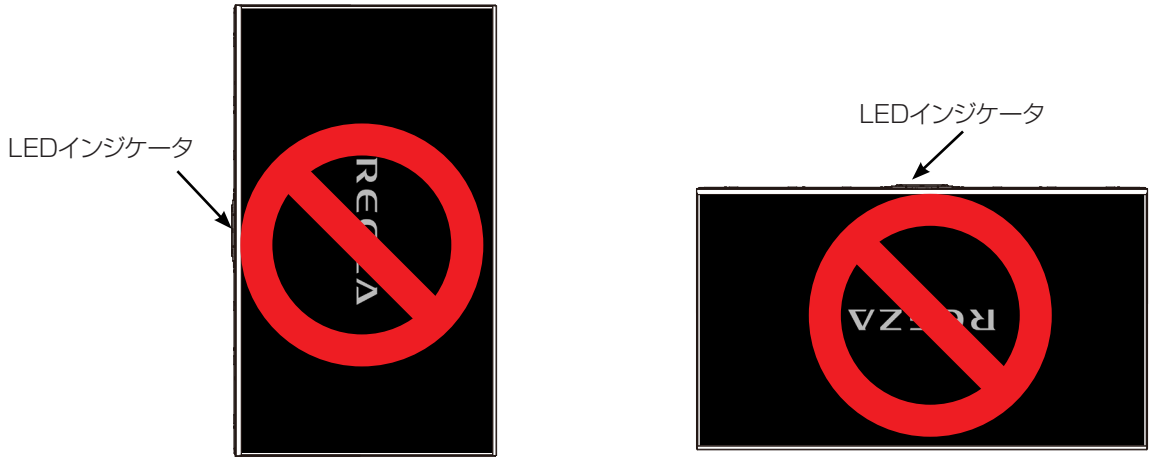


メモ 背面から見ると、定格ラベル記載の矢印向きが上向きになります。

〈定格ラベル〉



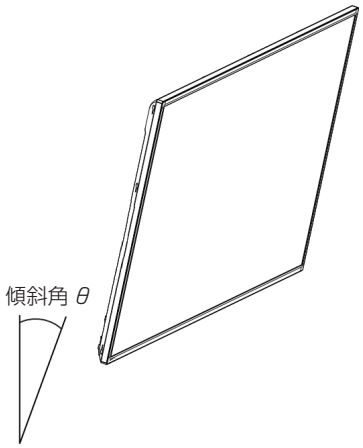
⚠警告	逆方向の縦置き設置や、上下逆に設置しないでください。 製品動作保証できません。内部温度が高温になり製品の寿命が短くなる可能性があります。



1.4.2. 傾斜状態での取り付け

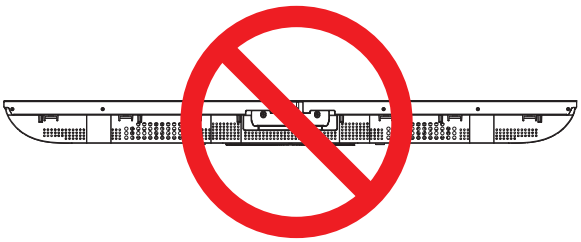
本機を傾斜状態で取り付けるときの傾斜角θの最大値は、設置条件や使用環境によって変わってきます。

販売店または業務用ディスプレイ相談窓口にお問い合わせください。



⚠警告	平置き(フェイスアップ及びフェイスダウン)設置には対応していません。動作に異常をきたすおそれがあり、動作保証できません。





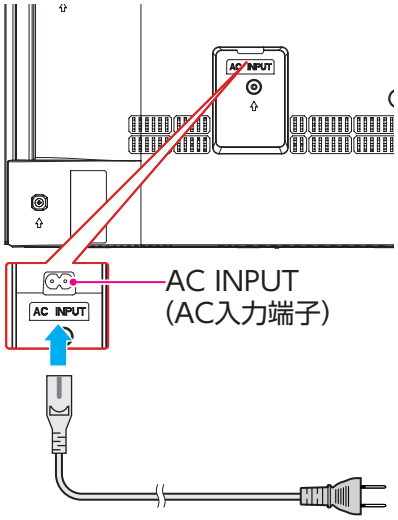
メモ

- 設置全般に対するご不明点やご相談は、巻末に記載の業務用ディスプレイお客様相談窓口または販売店にご連絡ください。

1.5. 電源の接続

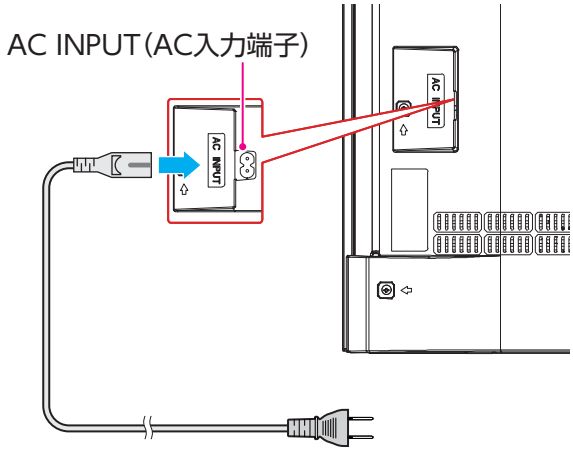
電源コードを本体側面部のAC入力端子にしっかりと接続します。

[TD-C434]



□ 電源コード:本体付属品 (2ピン、1.5m)

[TD-C504、TD-C554、TD-C654]



□ 電源コード:本体付属品 (2ピン、1.5m)

⚠警告	■ 電源プラグはAC100Vコンセントの根元まできちんと差し込んでください。 ■ 電源コードは、本機の付属品を使用してください。 ■ 本機に付属されている電源コードを他の機器に使用しないでください。 ■ できるだけ本機に近い電源コンセントを使い、すぐに手が届くようにしてください。

1.6. 駆動時間

業務用液晶パネル採用により、長時間駆動に適応しています。

16時間の連続駆動を目途にご使用いただき、使用後は電源オフしてください。

⚠注意	■ 16時間を超える連続駆動は内部アプリやメモリーで予期せぬエラーが発生する場合があります。 ■ 定期的にコンセントから電源プラグを抜いてメンテナンスを行ってください。

画像の焼付きや残像を防ぐ

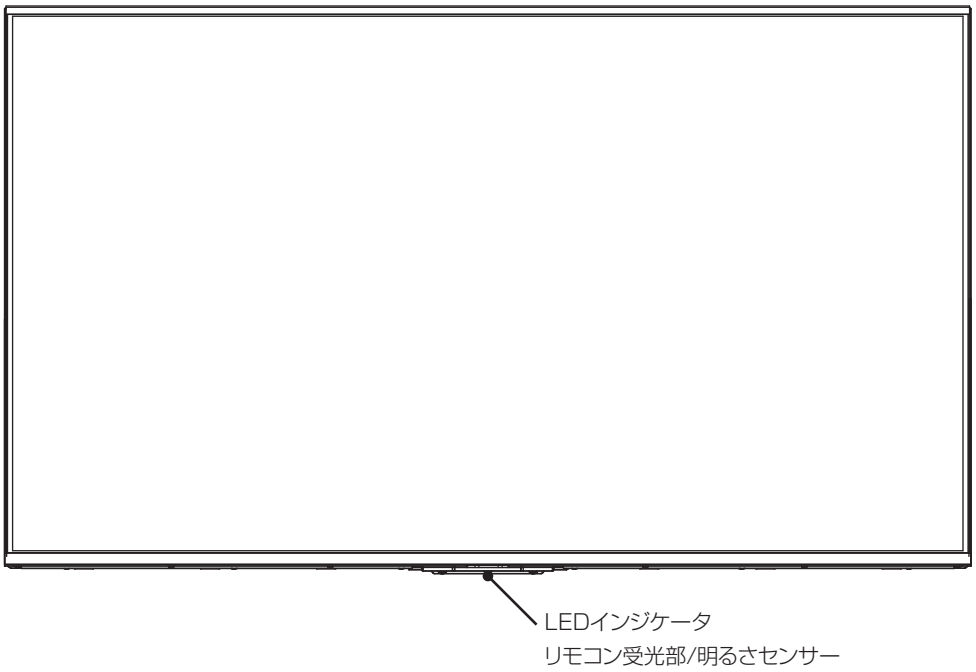
PC(コンピュータ)やメディアプレイヤー等で静止画像を長時間表示すると画像の「焼付き」が起きたり、画像の「残像」が残ることがあります。途中で動画表示に切り替えたり、スライドショーのように一定時間で画面を切り替えることで、「焼付き」や「残像」の発生を防ぐ効果があります。

⚠注意	■ 画像の「焼付き」や「残像」は保証対象外です。

- 4:3フォーマットの映像を長時間見ているときは、画面の左右と画像の端が「焼付き」や「残像」となりますので、長時間使用しないでください。
- 明るさとコントラストを使用環境に適した値に下げてください。
- 使用しないときは電源をオフしてください。
- 焼付き防止機能をオンにすると、設定した時間で自動で画面スキャンを行います。「焼付き」や「残像」を低減する効果があります。(詳しくは WEB版 取付/取扱説明書をご覧ください。)

2. 各部の名称と働き

2.1. 前面(LEDインジケータ/リモコン受光部/明るさセンサー)



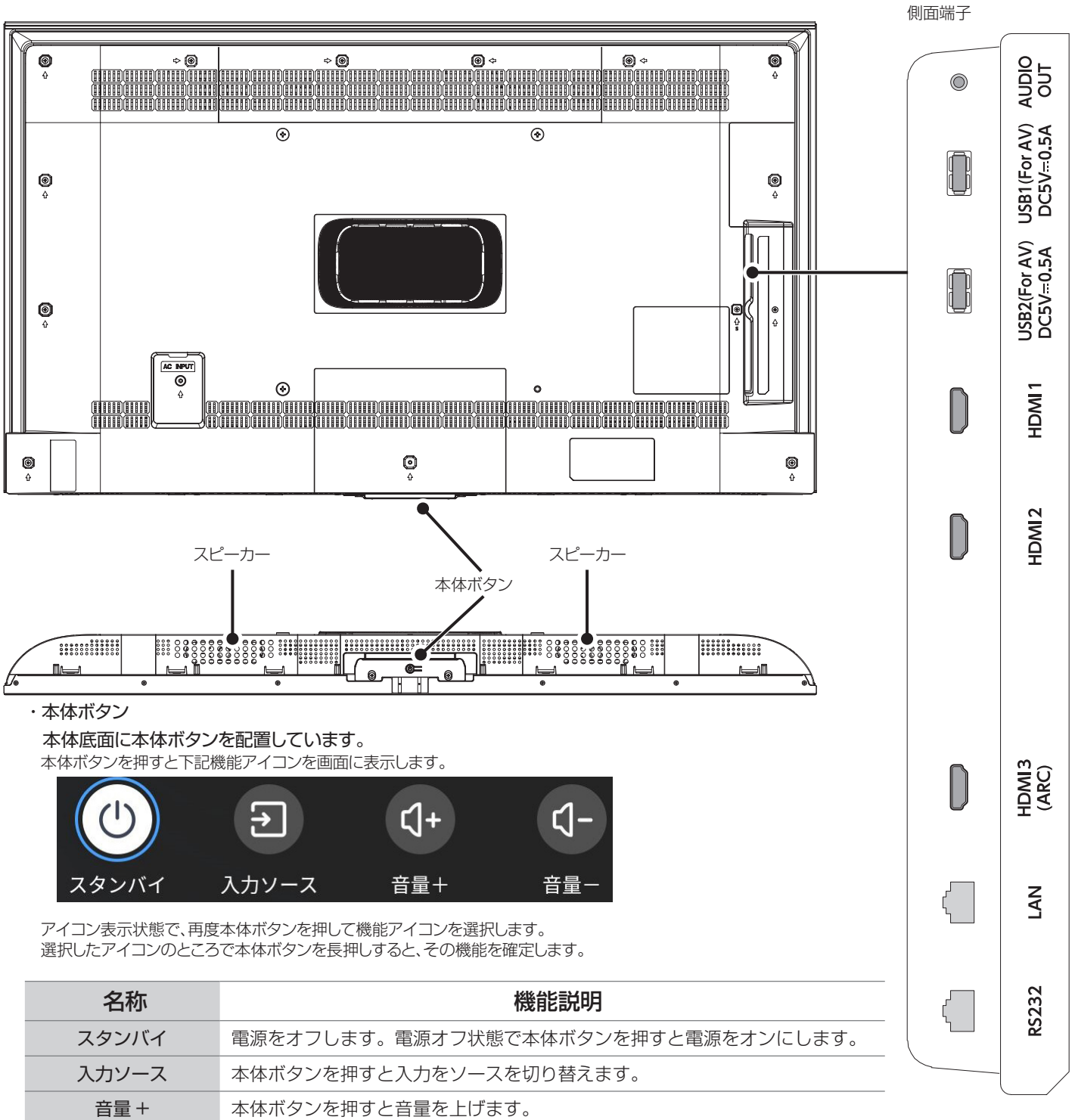
名称	機能説明
LED インジケータ	本機の電源状態を表示します。 - 白で点灯：本機が電源オフ状態になっている。 - 消灯： 本機が電源オン状態になっている。 電源オフ時の LED 点灯設定がオフになっている。(注) 本機の電源コードが外れている。
リモコン受光部	付属のリモコンからのコマンド信号を受信します。
明るさセンサー	ディスプレイ周辺の明るさを検出します。

(注) 設定メニューのLED点灯設定で電源オフ時、LEDを消灯することができます。

2.2. 側面端子/本体ボタン/スピーカー

・側面端子

本体側面にIO(入出力)端子を配置しています。



・本体ボタン

本体底面に本体ボタンを配置しています。

本体ボタンを押すと下記機能アイコンを画面に表示します。

アイコン表示状態で、再度本体ボタンを押して機能アイコンを選択します。
選択したアイコンのところで本体ボタンを長押しすると、その機能を確定します。

名称	機能説明
スタンバイ	電源をオフします。電源オフ状態で本体ボタンを押すと電源をオンにします。
入力ソース	本体ボタンを押すと入力をソースを切り替えます。
音量＋	本体ボタンを押すと音量を上げます。
音量－	本体ボタンを押すと音量を下げます。

・スピーカー

本体底面にフルレンジ 10Wスピーカーが2個配置されています。

メモ

- 背面図は43V型を代表とした参考図です。実際の製品とは異なる場合があります。

• 側面端子

端子名称	機能説明
Audio OUT	3.5mm ステレオミニジャック オーディオ出力端子。 本機から外部AV機器に音声を出力します。
USB1/USB2	AV関連機器専用USB端子。 USBメモリー、USBハードディスクを接続して、マルチメディアファイルの共有および再生を行います。また、USBマウスやUSBキーボードとの接続も可能です。USB1、USB2はDC5V/0.5Aの給電能力を持っています。
HDMI 1/ HDMI 2/ HDMI 3	HDR対応 HDMIビデオ/音声入力端子。 HDMI 3はARC兼用端子となっており、ARC搭載の音声機器との接続することができます。
LAN	RJ45 LAN端子。インターネットに接続します。また、本機に搭載のIPコントロールアプリにより本機のリモート制御を行います。
RS-232C IN	RS-232Cシリアル制御コマンド入力端子。付属のRS-232CケーブルでPCと本機を接続します。

接続デバイス補足

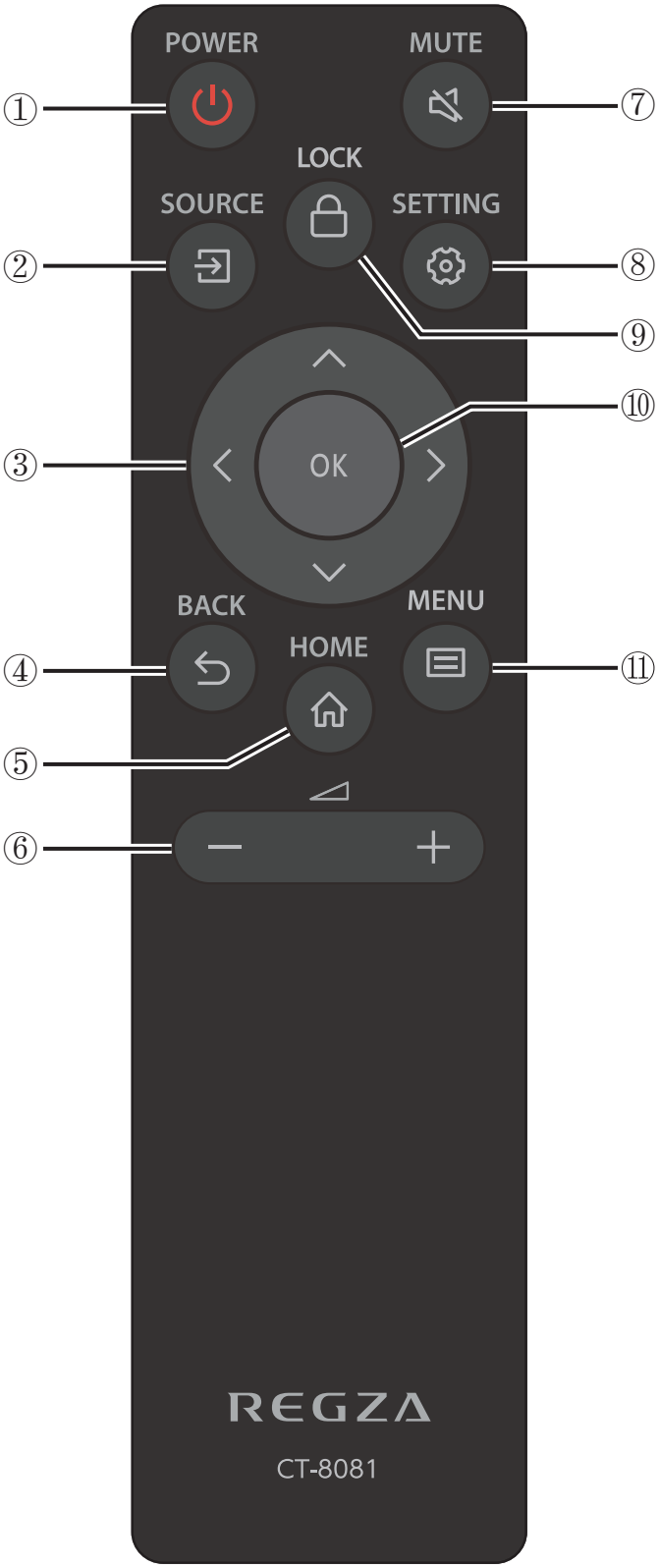
- **ブルーレイ:** ブルーレイレコーダー、ブルーレイプレイヤーで、本書ではブルーレイと表記します。
  接続にあたっては、本機のサポートフォーマット（13ページ）をご確認ください、
- **DVD:** DVDレコーダー、DVDプレイヤーで、本書ではDVDと表記します。
  接続にあたっては、本機のサポートフォーマット（13ページ）をご確認ください、
- **PC:** パーソナルコンピュータで本書ではPCと表記します。
  接続にあたっては本機のサポートフォーマット（13ページ）をご確認ください、
- **STB:** セットトップボックスで、本機ではSTBと表記します。
  HDMI出力搭載のSTBと接続できます。
  本機のサポートフォーマット（13ページ）をご確認ください、

メモ

- USB端子はPCやAndroidデバイス、iOSデバイスとのファイル共有はできません。
- 全てのデバイスの接続保証するものではありません。接続するデバイスの端子仕様やサポートフォーマットが本機に合わない場合があります。接続するデバイスの取扱説明書をご確認ください。
  不明な場合は、巻末に記載の業務用ディスプレイお客様相談窓口または販売店にお問い合わせください。

2.3. リモコン

2.3.1. リモコンボタンの機能



① **[⏻] 電源ボタン**
本機の電源を入れたり、スタンバイにします。
＊ 本体ボタンのような再起動や画面ロック移行選択はできません。

② **[⏎] 入力ソースボタン**
入力ソースを選択します。[∨] または [∧] ボタンを押して、**入力ソース**を切り替えます。**[OK]** ボタンを押して設定を確定し、終了します。

③ **[∧] [∨] [<] [>] ナビゲーションボタン**
メニュー間を移動し、項目を選択します。

④ **[⮌] 戻るボタン**
メニューの前のページに戻ります。または前の機能を終了します。

⑤ **[⌂] ホームボタン**
ホーム画面を表示します。

⑥ **[−] [+] 音量ボタン**
音量を調整します。

⑦ **[🔇] 音声ミュートボタン**
音声ミュート機能をオン/オフにできます。

⑧ **[⚙] 設定ボタン**
設定メニューを表示させます。

⑨ **[🔒] ロックボタン**
リモコンロックの一時解除を行います。
リモコンロックの状態で、リモコンボタンで [🔒]-[OK]-[OK]-[🔒] と押すと、リモコンロックを一時的に解除します。
＊ リモコンロック解除は一時解除の状態から、本機のセキュリティー設定で解除を行います。詳しくはWEB版取付/取扱説明書をご確認ください。

⑩ **[OK] OKボタン**
入力または選択内容を確定します。

⑪ **[☰] メニューボタン**
メニュー表示を行います。また、アプリやプレイリストを編集モードに入れるときに使用します。

2.3.2. リモコンに乾電池をセットする

リモコンは1.5V単四形乾電池を2本使用します。

乾電池をセットまたは交換する

1. カバーを押してスライドし、開けます。
2. 極性表示の(+)と(−)のとおり乾電池を入れます。
3. カバーを元どおりに取り付けます。

⚠注意	■ 乾電池は正しく使用してください。誤った使い方をすると、液漏れや破裂の原因になります。

次の指示を守ってください。

- 極性表示の(+)と(−)のとおりセットしてください。
- 違う種類の乾電池を一緒に使用しないでください。
- 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。乾電池の寿命が短くなったり、液漏れが発生することがあります。
- 使い終わった乾電池は、乾電池の電解液が漏れてリモコンが損傷しないよう、ただちに取り外してください。
  皮膚や目にダメージを与えることがあるため、乾電池から漏れ出た電解液には触れないでください。
- リモコンを長期間使用しない場合は、乾電池を取り外しておいてください。
- 乾電池に寿命はご使用状態によって変わります。リモコンが動作しにくくなったり、操作できる距離が短くなった時は、2本とも新しい乾電池と交換してください。
- 使用済みの乾電池は地方自治体またはお住いの地域で定められた規則に従って廃棄してください。

2.3.3. リモコン操作

リモコンからディスプレイを操作するときは、本機が見える位置から操作してください。
リモコンの先端を本機のリモコン受光部に向け、ボタンを押します。

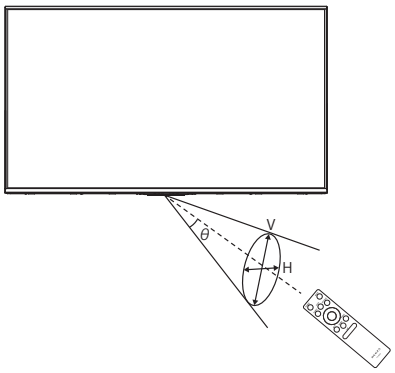
メモ リモコン操作上の注意

- 強い衝撃を与えないでください。
- リモコンに水などの液体がかからないようにしてください。リモコンが濡れた場合はただちにふき取ってください。
- 熱や蒸気にさらさないでください。
- 乾電池を取り付ける時以外はリモコンのカバーを開けないでください。

2.3.4. リモコンの動作範囲

リモコンは次の表に記載の範囲内で使用してください。

動作角度	リモコン動作距離
θ= 0°(横及び縦)	≦8m
θ= 30°(横)	≦6m
θ= 15°(縦)	≦6m



メモ

- 本機のリモコン受光部に直射日光や強い照明が当たっている場合や、信号の送信経路に障害物がある場合はリモコンが正しく動作しないことがあります。

3. 外部機器を接続する

3.1. 外部機器を接続する前に

3.1.1. 外部機器の準備

外部機器は9ページを参照してください。接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。

⚠注意	■ 外部機器の接続ケーブルの抜き差しをするときは、本機および接続機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

3.1.2. 接続ケーブルの準備

本書に記載の接続方法及び接続ケーブルの端子形状などは一例です。

設置場所や接続機器の使用に適したケーブル(市販品)をご準備ください。

<映像ケーブル(市販品)>

1) HDMIケーブル

- HDMIロゴ表示のある、5m以内のケーブルをお使いください。
- 5mより長いケーブルをお使いになる場合はアクティブケーブルまたは延長器をご使用ください。
- 外部機器から1080p以上の映像信号を入出力する場合は、プレミアムハイスピードHDMIケーブルをご使用ください。(標準HDMIケーブルでは正常に動作しないことがあります。)

メモ ケーブル使用上の注意(各ケーブル共通)

- ケーブルロスを最小にするため、2つの機器を接続するために必要最低限の長さのケーブルを使用してください。
- ケーブルを潰した状態で使用するとその特性が変わってしまうことがあり、画面にノイズとして現れたり、同期が外れたり、画面が出なくなることがあります。ケーブルを結束する場合は締めすぎないようご注意ください。

<音声ケーブル(市販品)>

本機の出力端子は3.5mm ステレオミニジャックです。

接続機器側の端子形状確認のうえ接続に適した市販のケーブルご使用ください。

<LANケーブル(市販品)>

カテゴリ5(CAT 5)と表示された規格以上のものをご使用ください。

<RS-232Cケーブル>

- RS-232C変換ケーブル
  付属のRJ45-D-Sub 変換ケーブルを使用してください。
  仕様:RJ45(本体接続用)ー D-sub 9ピン Female(PC接続用) 変換ケーブル

3.2. USB1/USB2に接続する

本機は側面にAV機器専用のUSB端子を2系統搭載しています。
USBメモリーやUSBハードディスクをそれぞれの端子に直接接続することで、USB機器に保存されている動画·写真·音楽ファイルを本機で再生したり、内蔵メモリーに移動またはコピーすることができます。(USBメモリー ： 市販品、23ページ参照)
また、USBマウスやUSBキーボードを接続することで、マウスやキーボードから本体を操作することができます。

⚠注意	■ 側面USB端子の最大出力電流はUSB1、USB2ともに500mAに制限されています(端子近傍に電流値記載)。この出力電流制限を超えた場合は動作保証できません。 ■ 本機のUSBポートで同時に出力できる合計電流は最大1000mAに制限されています。この出力電流制限を超えた場合は動作保証できません。

メモ

- USBハードディスクをバスパワーで接続する場合は、USB端子の給電能力に注意してください。給電能力を超える場合、USBハードディスクが動作しません。USBハードディスクを別電源にて駆動するなどの対応が必要です。
- USB機器接続の際、延長ケーブルは使用しないでください。動作が不安定になる場合があります。

3.3. HDMI1/HDMI2/HDMI3に接続する

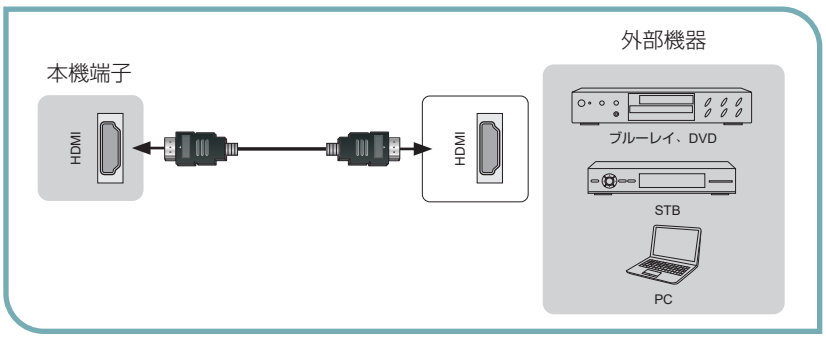
本機は、PCやAV機器(ブルーレイ、DVD、セットトップボックスなど)がサポートするHDMI出力と接続するHDMI入力端子を3系統持っています。本機とHDMI対応機器をHDMIケーブルで接続することで、接続機器内のコンテンツを視聴頂けます。

HDMI1: HDR対応 HDMI1入力端子。
HDMI2: HDR対応 HDMI2入力端子。
HDMI3: HDR対応 HDMI3入力/ARC兼用端子。
ARC対応のオーディオ機器と接続して使用することができます。

メモ

- HDMIで他の機器と接続するときは、送信信号が本機がサポートする信号フォーマットであることを確認してください。(サポート解像度一覧を参照)
  サポートされない信号の場合は、画像が乱れる、または画像が表示されないことがあります。
- HDMI外部機器がHDCP信号を適切にサポートしていない場合には、画面が表示されないことがあります。お使いの外部機器の仕様を確認してください。

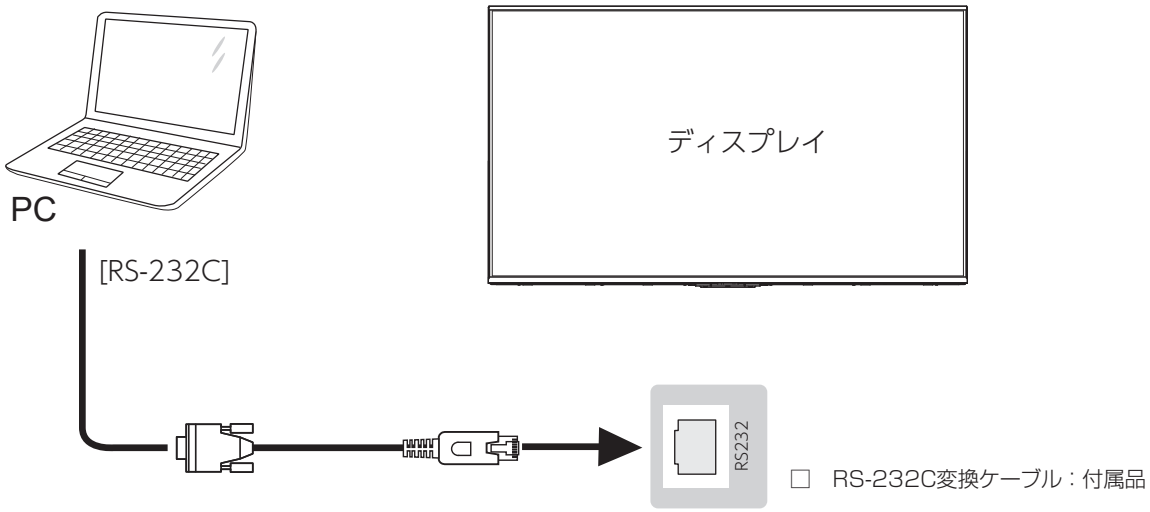
HDMIサポート解像度一覧		
RGB	**60Hz**	**640×480、800X600、1024×768、1920×1080、3840X2160、4096×2160**
YUV	**50Hz**	**576i、576p、720p、1080i、1080p、2160p(3840×2160, 4096×2160)**
	60Hz	**480i、480p、720p、1080i、1080p、2160p(3840×2160, 4096×2160)**
	24Hz、25Hz、30Hz	**2160p(3840×2160, 4096×2160)**



□ HDMIケーブル：市販品 (12ページ参照)

3.4. RS-232C INに接続する

付属のRS-232C 変換ケーブルで本機とPCを接続します。PCから通信コマンドを送信して本機の遠隔操作を行うことができます。



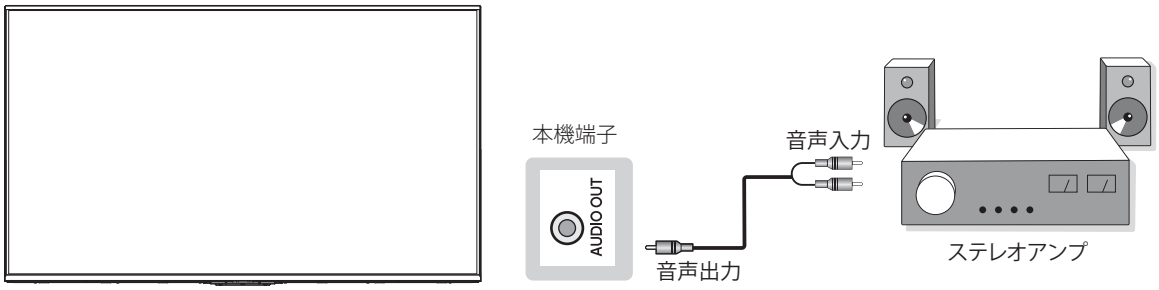
□ RS-232C変換ケーブル：付属品

メモ

- PCからUSBを使ってRS-232C制御を行う場合、USB/RS-232C変換アダプターが必要となります。
  また、PCとディスプレイで距離が離れている場合、RS-232C延長ケーブル（ストレートケーブル、市販品）が必要になります。あらかじめ、接続するPCの仕様および設置環境をご確認ください。
- RS-232Cによるコマンド制御をご利用する場合、あらかじめPC側に通信制御ツールをご準備いただく必要があります。(詳しくはWEB版 取付/取扱説明書をご確認ください)

3.5. AUDIO OUTに接続する

本機は3.5mmステレオミニジャック AUDIO OUT端子を搭載しています。AUDIOデバイスと接続して使用します。



□ 音声ケーブル：市販品 (12ページ参照)

3.6. ネットワークへの接続

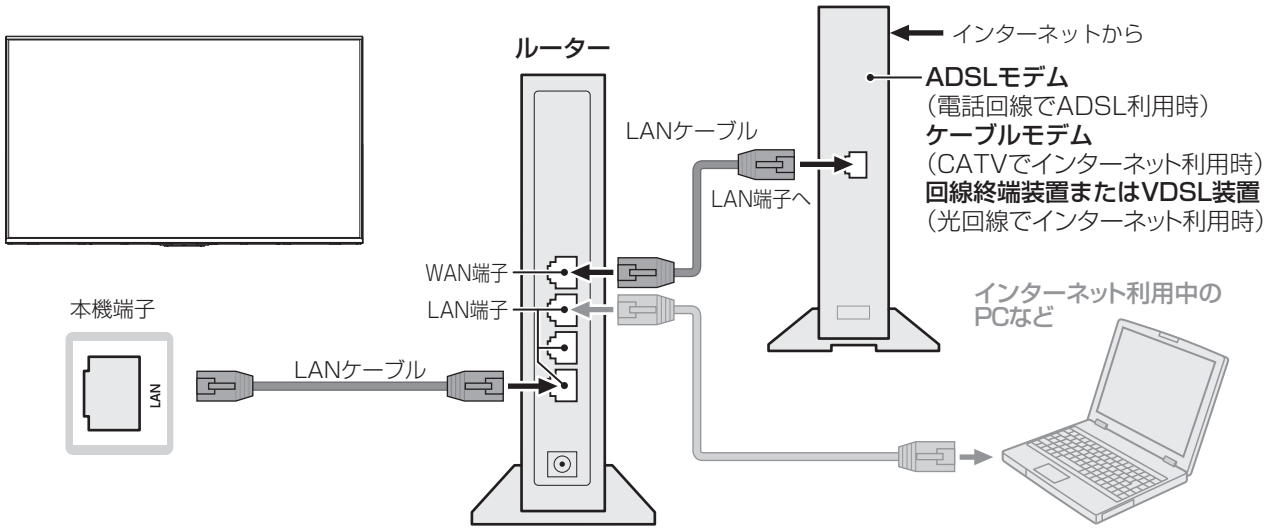
3.6.1. インターネットをつかう

本機をネットワークに接続すると、インターネットサービスをご利用できます。

メモ

- はじめてインターネットを利用する場合は、通信事業者やプロバイダー（インターネット接続業者）との契約が必要です。通信事業者または販売店などにご相談ください。
- 本機の「ネットワーク設定」にて接続する有線または無線ネットワークの設定を行ってください。（詳しくはWEB版取付/取扱説明書をご確認ください）
- 接続方法でご不明な点は巻末に記載の「業務用ディスプレイ お客様相談窓口」にお問い合わせください。
- モデムとルーターが一体化されている場合もあります。それぞれの取扱説明書もよくお読みください。

接続のしかた（有線接続例）



□ LANケーブル：市販品（12ページ参照）

□ ルーター: 市販品

□ モデム: 市販品

注意	■ LANケーブルを抜き差しするときは、本機および接続機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

メモ

- 本機のLAN端子は、必ず電気通信端末機器の技術基準認定品ルーターなどに接続してください。
- 通信事業者およびプロバイダーとの契約費用および利用料金などは、ご自身でお支払いください。
- 以下の場合やご不明な点は、ご契約の回線事業者やケーブルテレビ会社、プロバイダーなどにお問い合わせください。
  - ご契約によっては、本機やパソコンなどの機器を複数接続できないことがあります。
  - 一部のインターネット接続サービスでは、本機を利用できないことがあります。
  - プロバイダーによっては、ルーターの使用を禁止あるいは制限している場合があります。
  - 回線の状況によっては、うまく通信できないことがあります。
- 本機ではルーターやルーター内蔵のモデムの設定はできません。これらの機器によってはPCでの設定が必要な場合があります。
- 本機はダイアルアップ通信やISDN回線などでインターネットをご利用いただくことはできません。
- 前ページの接続のしかたで、この接続例に図示していない機器が接続されている場合、正常に通信できないことがあります。
- ルーターなどが正しく設定されていない回線に本機のLAN端子を接続すると、本機が正常に動作しない場合があります。

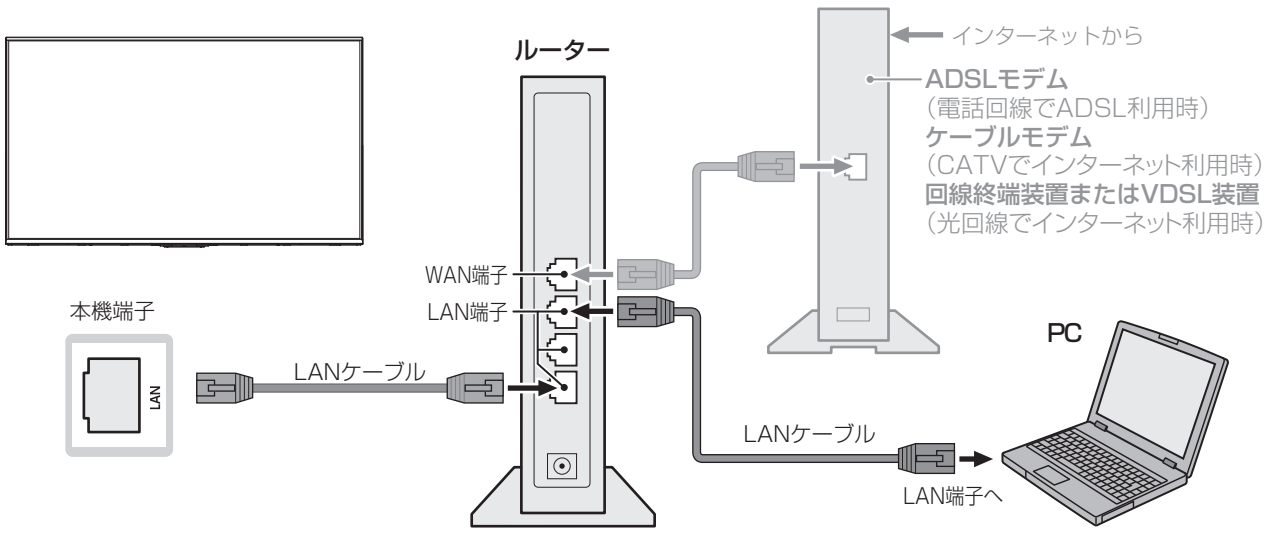
3.6.2. IPコントロールをつかう

本機のIPコントロール機能を使って、PCからLAN経由で通信コントロール制御することができます。

メモ

- IPコントロールによるコマンド制御をご利用する場合、あらかじめPCに通信コマンド制御ツールを準備しておく必要があります。
  (詳しくはWEB版 取付/取扱説明書をご確認ください)

接続のしかた(有線接続例)



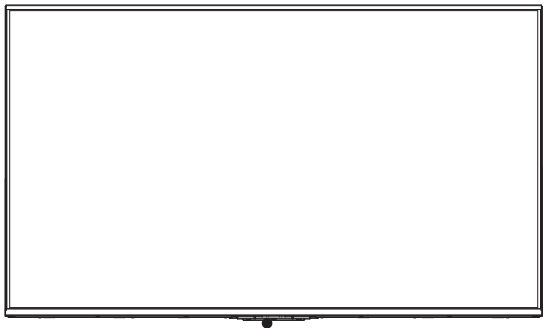
□ LANケーブル : 市販品(12ページ参照)

□ ルーター: 市販品

4. 電源操作

4.1. 電源を入れる

- 電源プラグを挿入します。ディスプレイが起動します。(出荷設定)
  この時LEDインジケータは消灯します。
- LEDインジケータが白点灯の場合は、電源オフ状態となっています。
  リモコン電源ボタンまたは底面本体ボタンを押してディスプレイを起動します。



LEDインジケータ
リモコン受光部/明るさセンサー

電源ステータス	LEDインジケータ
電源オン	消灯
電源オフ	白点灯 (注)
無通電	消灯

(注) 設定メニューのLED点灯設定で電源オフ時に、LEDを消灯することができます。

メモ

- ディスプレイ起動中は、REGZAロゴが表示されます。内部設定を行っていますので、この間はリモコンや本体ボタンは受け付けません。起動中に電源プラグを抜かないでください。



4.2. 電源オフ

- 電源オン状態でリモコン電源ボタンを押す、または底面本体ボタンを押して操作画面から「スタンバイ」を選択すると、電源オフに移行します。
- お手入れ、長期間使用しないときは電源プラグを抜いてください。

メモ ・ 時計データは主電源オフ状態でもバックアップ電源により約1週間駆動します。

警告	■ 異常の場合は速やかにコンセントを抜いてください。

5. お手入れとトラブルシューティング

5.1. お手入れ

本機をお手入れする際の注意

- 本機の通風孔部分は、非常に熱くなっていますので、手や顔、物を通風孔に近づけないでください。体の一部を近づけすぎると、やけどやケガの原因となります。本機上部の近くに物を置くと、その物や本機の熱による損傷が発生する可能性があります。
- 本機を移動する前に、すべてのケーブルを取り外してください。ケーブルを接続したまま本機を移動すると、ケーブル等が傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
- 安全上の注意に従って、お手入れまたはメンテナンスを行う際はどのような場合であっても、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- ゴムまたはビニール製の物をキャビネットの近くに長期間置かないでください。

⚠注意	■ お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。 感電の原因となることがあります。

フロントパネルのお手入れ

- 液晶パネルの表面に付着しているゴミ、ホコリを柄付の柔らかいモップなどでやさしく払ってください。
- 液晶パネルの表面は清潔で柔らかな、毛羽立ちの無い布（綿やガーゼなど）を使用して、表面をやさしくふいてください。手の脂などの汚れが目立つ場合は、マイクロファイバークロスの眼鏡ふきやタッチパネルふきなどで画面をやさしくふいてください。
- よごれが落ちにくい場合は、清潔で柔らかな、毛羽立ちの無い布（綿やガーゼなど）を中性洗剤に浸してから固く絞り、表面をやさしくふき取ってください。次に、同様の乾いた布で水分をふき取ってください。
- パネル表面を指や硬い物で引っかいたり叩かないでください。
- 殺虫剤、溶剤、シンナーなどの揮発性物質は使用しないでください。

キャビネットのお手入れ

- キャビネットに付着しているゴミ、ホコリを柄付の柔らかいモップなどでやさしく払ってください。
- キャビネットが汚れた場合は、清潔で柔らかな、毛羽立ちの無い布（綿やガーゼなど）でふいてください。
- よごれが落ちにくい場合は、清潔で柔らかな、毛羽立ちの無い布（綿やガーゼなど）を中性洗剤に浸してから固く絞り、表面をやさしくふき取ってください。次に、同様の乾いた布で水分をふき取ってください。
- 水や洗剤が、本機の表面に付かないようにしてください。水や湿気が本体内部に入り込むと、動作不良を起こしたり、電気的障害や感電事故の原因となります。
- キャビネットを指や硬い物で引っかいたり叩かないでください。
- キャビネットに、殺虫剤、溶剤、シンナーなどの揮発性物質を使用しないでください。

5.2. トラブルシューティング

症状	考えられる原因	対処方法
画像が表示されない	1. 電源コードが接続されていない。 2. 本機が電源オフになっている。 3. 選択した入力端子に機器が接続されていない。 4. 本機がスリープモードになっている。	1. 電源コードを接続してください。 2. LEDインジケータの白点灯を確認、リモコン電源ボタンまたは底面本体ボタンを押してください。 3. 対応する入力端子に機器を接続してください。 4. リモコン電源ボタンまたは底面本体ボタンを押してください。
表示される画像が乱れる、または音声にノイズが入る	周囲の電子機器や蛍光灯によるもの。	本機を別の場所に移動し、画像の乱れが軽減されているか確認してください。
色がおかしい	映像ケーブルが正しく接続されていない。	信号ケーブルが側面の映像入力端子にしっかりと接続されているか確認してください。
画像が異常なパターンで歪んでいる	1. 映像ケーブルが正しく接続されていない。 2. 入力信号の解像度が液晶ディスプレイのサポート範囲を上回っている。	1. 信号ケーブルが側面の映像入力端子にしっかりと接続されているか確認してください。 2. 液晶ディスプレイのサポート範囲を超えないように、映像入力信号解像度を確認してください。入力モードの項で仕様を確認してください。
画像は表示されるが音声が聞こえない	1. 音量が一番低く設定されている。 2. 音声ミュート[🔇] がオンになっている。	1. [＋] または [－] ボタンを押して音量を調整してください。 2. [🔇] ボタンを押して、ミュートをオフにしてください。
一部の画素が光らない	液晶ディスプレイの一部の画素が欠けている。	液晶ディスプレイは、極めて精密な技術で製造されていますが、一部のピクセルが表示されない場合があります。これは故障ではありません。
本機の電源を切った後も映像が表示される（ロゴ、ビデオゲーム、PC の画像、4:3 の通常モードで表示された画像などの静止画）	静止画が長時間表示された。	静止画を長時間表示しないでください。液晶パネルに永続的に残像もしくは焼き付きが残ることがあります。液晶パネルの焼き付きは保証対象外です。
スマートフォンで撮影した写真、動画が上下が逆になる場合がある	スマートフォンでは撮影画像のファイル属性を見て180度回転表示するが、本機はこの属性に対応していないため。	PCのペイントブラシ等の機能で上下逆に再設定ください。
操作ができない	1. 操作するとリモコンロックのメッセージがでる。 2. 操作すると本体キーロックのメッセージがでる。	1. リモコンロック機能が動作しています。「セキュリティーと権限」アプリより、ロック機能を解除してください。 詳細は、「2.3.リモコン」およびWEB版取扱説明書「5.5.アプリケーションを使う」をご確認ください。 2. 本体ボタンロック機能が動作しています。「セキュリティーと権限」アプリより、ロック機能を解除してください。 詳細はWEB版取扱説明書 「5.5.アプリケーションを使う」をご確認ください。
USBが使用できない	1. HFS+でフォーマットされている 2. USBの空き容量がない。 3. USBを開いてもファイル表示しない。またはUSBロックのメッセージが出る。	1. FAT32, FAT16, NTFS, exFATでフォーマットされたUSBを使ってください。 2. 空き容量にあるUSBを使ってください。 3. USBロック機能が動作しています。「セキュリティーと権限」アプリより、ロック機能を解除してください。 詳細はWEB版取扱説明書「5.5.アプリケーションを使う」をご確認ください。
メディアプレイヤーでファイル再生できない	「サポートしていないフォーマット」のメッセージがでる。	サポートフォーマットに適合した、ファイル形式、拡張子、ビットレート、解像度であることを確認してください。

6. 製品仕様

液晶パネル:

形名	TD-C434	TD-C504	TD-C554	TD-C654
画面サイズ	43V型	50V型	55V型	65V型
アスペクト比	16:9			
駆動方式	TFTアクティブマトリクス			
ピクセル数	3840(H) x 2160(V)			
表示可能色	約10億7000万色			
輝度(Typ.)	350 cd/m^2			
コントラスト比(Typ.)	1200:1	5000:1	1200:1	1200:1
視野角	上下/左右 178度			

一般:

形名	TD-C434	TD-C504	TD-C554	TD-C654
定格電圧/定格周波数	AC100V、50/60Hz			
定格電流	1.2A	1.4A	1.6A	1.7A
消費電力(最大)	120W	140W	160W	170W
消費電力(スタンバイ & オフ)	≦0.5W	≦0.5W	≦0.5W	≦0.5W
寸法(幅 x 高さ x 奥行き)	957.4mm× 562.3mm× 74.2mm	1110.0mm× 649.0mm× 77.2mm	1226.2mm× 713.0mm× 77.6mm	1445.9mm× 837.6mm× 74.8mm
本体質量	8.5kg	11.5kg	13.0kg	19.0kg

環境条件:

形名	TD-C434	TD-C504	TD-C554	TD-C654
温度	0℃～40℃			
湿度	10%～80% RH (結露しないこと)			
大気圧	86kPa～106kPa			

内部スピーカー:

形名	TD-C434	TD-C504	TD-C554	TD-C654
タイプ	フルレンジ			
実用最大出力	10W+10W (JEITA)			

無線LAN:

項目	仕様
規格	IEEE802.11n ／ IEEE802.11a ／ IEEE802.11g ／ IEEE802.11b ／ IEEE802.11ac 準拠 ARIB STD-T71 ／ ARIB STD-T66 ※ 従来の無線規格であるJ52には対応しておりません。
伝送方式	OFDM方式／ DSSS方式
周波数範囲(中心周波数)およびチャンネル	IEEE802.11n ／ IEEE802.11a ／ IEEE802.11ac: 5.18GHz ～ 5.24GHz(36、40、44、48) [W52] 5.26GHz ～ 5.32GHz(52、56、60、64) [W53] 5.50GHz ～ 5.70GHz (100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140) [W56] IEEE802.11n ／ IEEE802.11g ／ IEEE802.11b: 2.412GHz ～ 2.472GHz(1 ～ 13)
動作モード	インフラストラクチャーモード (アドホックモードは対応しておりません。)

その他仕様:

- 意匠･仕様･ソフトウェアは製品改良のため予告なく変更することがあります。
- 画面サイズ(43V型など)は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
- 本機は日本国内での使用を目的に設計されており、海外では電源電圧が異なりますので使用できません。
- 本機の改造は感電、火災などのおそれがありますので行わないでください。
- イラスト、画面表示などは、見やすくするために誇張や省略などで実際とは多少異なります。
- 「JIS C 61000-3-2 適合品」－JIS C 61000-3-2 とは、日本工業規格「電磁両立性－第3-2部:限度値－高調波電流発生限度値(1相あたりの入力電流が20A以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計･製造した製品です。
- 液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られており、微細な画素の集合で表示しています。99.99%以上の有効画素があり、ごく一部(0.01%以下)に光らない画素や、常時点灯する画素などがありますが、故障ではありませんので、ご了承ください。

メディアプレイヤー　サポートフォーマット

- **動画ファイル**

ファイル拡張子	ビデオ コーデック	最大解像度	最大 ビットレート	最大 フレームレート	オーディオコーデック
.avi	Xvid	1,920 x 1,080	50Mbps	30fps	Dolby Audio, MPEG1(Layer1,2,3), AAC
.avi .mpg .ts	MPEG2	1,920 x 1,080	50Mbps	60fps	Dolby Audio, MPEG1(Layer1,2,3), AAC
.ts .mkv .avi .mp4, flv	H.264	3,840 x 2,160	100Mbps	30fps	Dolby Audio, MPEG1(Layer1,2,3), AAC
.avi .mpg .mov	MPEG4	1,920 x 1,080	50Mbps	60fps	Dolby Audio, MPEG1(Layer1,2,3), AAC
.ts .mkv .mp4	H.265	3,840 x 2,160	80Mbps	60fps	Dolby Audio, MPEG1(Layer1,2,3), AAC

- **静止画ファイル**

ファイルの拡張子	静止画コーデック	形式	最大解像度
.jpg .jpeg	JPEG	Base line	8,000 x 8,000
		Progressive	8,000 x 8,000
.png	PNG	Non―interlace	8,000 x 8,000
		Interlace	8,000 x 8,000
.bmp	BMP	―	8,000 x 8,000

- **音楽ファイル**

ファイル拡張子	オーディオコーデック	周波数	ビットレート
.mp3	MPEG1/2(Layer3)	8 ~ 48kHz	8kbps ~ 320kbps
.wma	WMA	8 ~ 96kHz	8kbps ~ 320kbps
.flac	FLAC	8 ~ 96kHz	VBR(可変ビットレート)
.wav .aif .aiff	PCM	8 ~ 48kHz	最大 1.5Mbps
.aac .m4a	AAC	8 ~ 96kHz	VBR(可変ビットレート)

メモ

- ビットレートまたは最大解像度が上記の表よりも大きいコンテンツの場合、動作は保証できません。
- 本書で記載されている対応フォーマットであっても、そのすべてのファイルの再生を保証するものではありません。

メモ

USB記録デバイス

- USB3.0、USB2.0対応のUSBメモリー（市販品）をご使用ください。
  USBハードディスクも接続は可能ですが、本機のUSB端子の給電能力は5V - 0.5Aまでです。給電応力を超える場合は外部電源供給が必要となります。
- FAT32, FAT16, NTFS, exFATフォーマットに対応しています。
- FAT32フォーマット時、最大容量は2TB、1ファイルあたりの最大容量は4GBに制限されます。
- すべてのUSB記録デバイスの動作保証をするものではありません。USB記録デバイスによっては再生できないものもあります。事前に接続確認をお勧めします。
- USB記録デバイスを認識しない場合、一度USB記録デバイスのフォーマットを行ったうえで再度お試しください。症状が解消される場合があります。
- 暗号化されたUSB記録デバイスは再生できません。
- USB記録デバイスで使用するフォルダー名およびファイル名に使用する漢字、ひらがな、カタカナは、本機でサポートする日本語フォントの制約で文字化けする場合があります。
- USB記録デバイスを取り外す場合は、電源オフ状態で行ってください。
- USBの延長ケーブルは使用しないでください。動作不安定になる場合があります。

業務用ディスプレイ サポートホームページ
各種お問い合わせの受け付け、カタログおよび取扱説明書ダウンロードができます。

https://www.regza.com/b2b/support/contact

※ 上記アドレスは予告なく変更される場合があります。

商品選びのご相談、お買い上げ後の基本的な取り扱い方法、故障と思われる場合のご相談

業務用ディスプレイ お客様相談窓口

【一般回線・PHSからのご利用は】(通話料：無料)
0120-1048-27

【携帯電話からのご利用は】(通話料：有料)
0570-666-065

受付時間:月曜～金曜 9:00-17:00
(祝日及びTVS REGZA株式会社既定休業日を除く)

- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する当社グループ会社、家電製品関連会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

TD-C434 / TD-C504/
TD-C554 / TD-C654
液晶ディスプレイ

取付ガイド
2026 年 1 月 初 版 発行
発行 : TVS REGZA 株式会社
〒212-0013
神奈川県川崎市幸区堀川町 66 番地 2
(興和川崎西口ビル)

© 2026 TVS REGZA Corporation, All rights reserved.

意匠･仕様･ソフトウェアは製品改良のため予告無く変更することがあります。